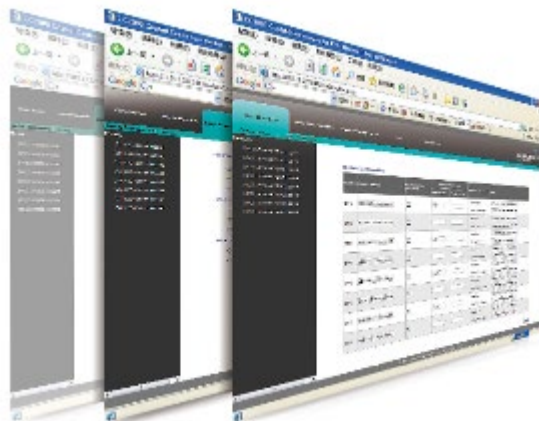


# eco DC

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、eco DC 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2018 年 5 月 15 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

## ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

### 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

#### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

#### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

#### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
マニュアル表記について.....	4
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>5</b>
概要.....	5
特長.....	7
システム要件.....	8
センサー .....	8
対応 ATEN デバイス.....	9
<b>第2章 インストール .....</b>	<b>10</b>
始める前に .....	10
eco DC のインストール.....	10
<b>第3章 初回セットアップ.....</b>	<b>14</b>
ログイン.....	14
Web ブラウザのメイン画面 .....	15
ページ構成.....	16
タブバー .....	17
設定 .....	18
クイックセットアップの手順 .....	19
<b>第4章 エネルギー .....</b>	<b>20</b>
概要.....	20
ダッシュボード .....	21
ウィジェット.....	22
デバイス .....	23
電力 .....	31
温度 .....	33
気圧 .....	37
湿度 .....	39
すべてのウィジェット.....	42
電源制御.....	43
センサー.....	43

バンク .....	44
アウトレットの状態 .....	44
グループ制御 .....	44
<b>分析 .....</b>	<b>45</b>
レポートの生成 .....	45
作成されたレポート .....	49
<b>スケジュール .....</b>	<b>50</b>
日単位 .....	50
週単位 .....	51
年単位 .....	51
<b>第5章 ユーザー .....</b>	<b>53</b>
<b>概要 .....</b>	<b>53</b>
アカウント .....	54
認証サービス .....	56
セッション .....	62
<b>第6章 デバイス .....</b>	<b>63</b>
<b>概要 .....</b>	<b>63</b>
<b>セットアップ .....</b>	<b>64</b>
デバイスの追加 .....	64
デバイス .....	65
レイアウト .....	72
<b>データグループ .....</b>	<b>77</b>
<b>ファームウェアのアップグレード .....</b>	<b>79</b>
<b>電力メーター .....</b>	<b>81</b>
<b>第7章 システム .....</b>	<b>82</b>
<b>概要 .....</b>	<b>82</b>
<b>全般 .....</b>	<b>82</b>
サーバー .....	83
デバイス .....	83
SNMPトラップ .....	85
SMTP .....	86
Syslog .....	87
ライセンス .....	87
セキュリティ .....	88
証明書 .....	89
その他の設定 .....	91

システムヘルス .....	92
<b>データベース .....</b>	<b>93</b>
アクセス.....	93
メンテナンス .....	94
<b>イベント.....</b>	<b>95</b>
設定 .....	96
<b>第8章 ログ .....</b>	<b>97</b>
<b>概要.....</b>	<b>97</b>
システムログ .....	97
デバイスログ .....	98

## マニュアル表記について

---

[   ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

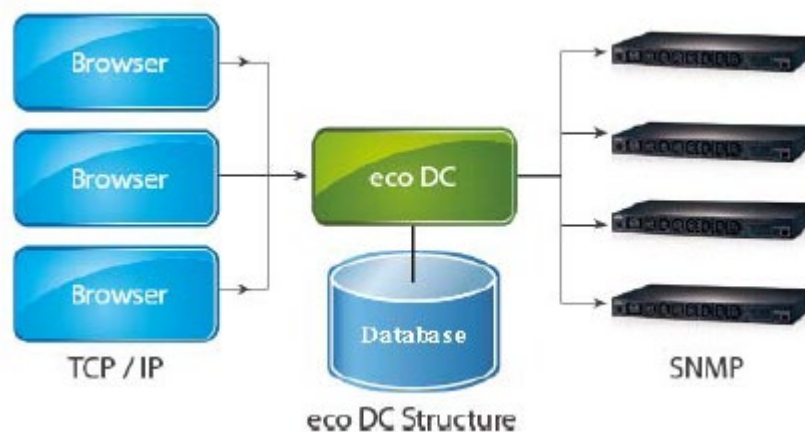
※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

ATEN eco DC の Web GUI は、ATEN の次世代 PE シリーズである eco PDU と併用して、データセンターにおける電源使用の効率性を高めるために開発されました。ATEN eco DC は、Web ブラウザから PDU の管理や制御が行える Web ベースの GUI です。お使いの ATEN PDU を管理するのに必要となるソフトウェアをインストールしたりセットアップしたりする必要はありません。eco DC は、各種 OS プラットフォーム上で動作するため、読みやすいグラフを出力できる直感的なインターフェースで、データセンターの消費電力を簡単に管理することができます。

eco DC の Web GUI をセンサー対応の eco PDU\*と併用し、部屋やフロア、また建物単位で、動的ラック冷却指数 (RCI) およびゾーン別戻り温度指数 (RTI) を使用することで、エネルギーをどれだけ節約できたかを査定・診断し、予測することができます。センサー対応システムからの提案に従えば、IT 設備の信頼性を失うことなく、エネルギーを最適化して、節約することができます。ATEN eco DC の Web GUI を使用すれば、ローカルからでも、また世界のどこからでも、いつでもネットワークを通して、最大 3000 台の PE デバイスをセキュアで集約化した (シングルポータル、シングルログインの) アクセスにて、管理し、操作することができます。



ATEN eco DC は、一つに統合されたウィンドウベースのアプリケーションプログラムでデバイスすべてを管理するため、ユーザーはデバイスごとにインターフェースを習得したり、各デバイスの IP アドレスを覚えたりする必要はなく、システム管理がより簡単に、効果的になります。

eco DC は ATEN デバイスの管理を統合することにより、シングルログインで、それぞれのデバイスにアクセスし、操作することができます。各種 ATEN デバイスのアウトレットすべてを一箇所で管理できる eco DC は、大規模データセンター、および同一イントラネット上に分散する支店のサーバールームといった場所での電源管理に最適です。

ATEN eco DC は同一イントラネット上にある ATEN デバイスすべてを自動的に検出し、これらを監視/操作することができます。Web GUI では、PE デバイスのアウトレットの電源 ON/OFF/再投入、アウトレットレベルでの電源 ON/OFF シーケンス設定、PDU またはアウトレットレベルでの電流/kWH/環境監視、アウトレットの名前、SNMP を通じた電流/kWH/環境センサーしきい値設定/アラートなどを監視したり管理したりすることができます。また、しきい値超過時には Syslog や SMTP を通じてアラートも通知されます。

---

\* 本製品に対応するセンサー対応 ATEN eco PDU の一覧表については、p.9「対応 ATEN デバイス」を参照してください。

---

ATEN eco DC は、SNMP 経由で PDU 管理に関する完全な機能を提供します。この機能により、複数ユーザーが Web GUI に同時にログインし、認証システムが異なる部屋、フロア、または建物に設置されている PDU を管理することができるため、結果的に、統合された環境において、分散された PDU 管理業務を効率化することが可能です。ユーザーアカウントや操作権限は 2 段階から選択できるため、ユーザーに対する権限設定は、PDU それぞれに対して、監視や管理の機能別に定義することができます。この新しい Web ベースのバージョンを手に入れば、データセンターの管理業務を一箇所に集約し、パフォーマンスを最大限に引き出すことが可能になります。

## 特長

---

- ◆ 同一イントラネット上の ATEN デバイスすべてを自動的に検出
- ◆ 電源の計測や監視をリモートからリアルタイムで実現
  - PDU レベルの電流/電圧/消費電力/電力消費量
  - アウトレットの ON/OFF/再投入ステータス
  - ブレーカーの状況監視
- ◆ データセンターの状態は Windows のポップアップ画面で簡単にモニタリング
- ◆ 電源アウトレットの管理をリモートからリアルタイムで実現\*
  - 電源 ON/OFF/再投入をアウトレット単位またはユーザー定義のグループ単位で切替
  - 電源 ON/OFF/再投入を定義済みのスケジュールで切替
  - ユーザーが設定したアウトレットレベルでの電源投入シーケンスを遅延
  - 電流/電圧/電力/消費電力のしきい値を設定
  - アウトレット単位でユーザーアクセス権限を設定
  - 各アウトレットに対して名前を設定
- ◆ 環境センサーのモニタリングをリモートからリアルタイムで実現
  - 温度/温度+湿度の読取
  - 温度および湿度のしきい値レベルの設定
- ◆ PE デバイスすべてを描画/モニタリング可能
  - データセンターのサーバーラックを追加
  - 各サーバーラックに PE デバイスを追加
  - 各プロットのデバイス/デバイスのアウトレット状況を管理
- ◆ ラック吸気温度、ラック排気温度、ラック機器、温度差、動的ラック冷却指数 (RCI)、ゾーン別戻り温度指数 (RTI) を含む重要指数
- ◆ 電力分析レポートでデータセンターにおけるエネルギー管理を最適化 - 使用電力、電源負荷、電力費、CO2 コスト、電力容量、傾向に対応
- ◆ しきい値を超えた場合、SMTP や Syslog 経由で警告
- ◆ Syslog 提供
- ◆ 2 段階のパスワードでセキュリティを確保
- ◆ パスワード保護および高度な暗号テクノロジーを含む強固なセキュリティ機能 - 128-bit SSL 対応

---

**注意:** ATEN eco PDU PE モデルのすべてが、全機能に対応しているわけではありません。詳細は、p.9「対応 ATEN デバイス」および eco PDU PE ユーザーマニュアルを参照してください。

---

## システム要件

eco DC の Web GUI をインストールするシステムには、下記の条件が必要です。

	サーバーのバージョン	クライアントのバージョン
OS	Windows 7/Windows Server 2008 以降	
CPU	2.5GHz クアッドコア	2.0GHz デュアルコア
解像度	1440×900 以上	
メモリー	8GB	4GB
ディスク	1TB	-
ネットワーク	1Gbps イーサネット	

## センサー

ATEN eco PDU および eco DC の Web GUI を使用して、データセンターの電源を十分に管理するには、完全なエネルギー効率データチャートを作成する必要があるため、データセンター内の各ラックにセンサーを 4 台設置してください。設置するセンサーの数が増えるほど、より正確なデータが得られます。8 ポートモデルには、センサーポートが 2 つあります。この場合、センサー1 はラックの吸気口(EA1140 または EA1240)に設置し、センサー2 はラックの IT 設備の排気口 (EA1140 または EA1240)、または床 (EA1340) に設置してください。

完全な eco DC Web GUI のデータを得るには、下表のように、各ラックセンサーに eco PDU ユニットの 2 台セットアップすることを推奨いたします。

eco PDU	ポート	位置	型番	センサー
eco PDU 1	Sensor 1	吸気口	EA1240	温度/湿度
	Sensor 2	床	EA1340	差圧/温度
eco PDU 2	Sensor 1	吸気口	EA1240	温度/湿度
	Sensor 2	排気口	EA1240	温度/湿度

## 対応 ATEN デバイス

型番	アウトレット	計測レベル
PE6108A / B	NEMA 5-15R / IEC C13	PDU
PE6208A / B	NEMA 5-20R / IEC C13 / C19	
PE8108A / B	NEMA 5-15R / IEC C13	アウトレット
PE8208A / B	NEMA 5-20R / IEC C13 / C19	
PE6216	IEC 320 C19+IEC 320 C13	バンク×1
PE5324 / PE6324		バンク×2
PE8216		アウトレット
PE7324 / PE8324		アウトレット
PE5324kJA		NEMA 5-15R ツイストロック
PE7324kJA	PDU / バンク×2 / アウトレット	
PE8324A / JA	NEMA 5-15R	PDU / バンク×2 / アウトレット
EC1000 / EC2004	接続する PDU の機種による	バンク×1/2

**注意:** アウトレット情報および各型番の仕様に関する詳細は、それぞれのユーザーマニュアルを参照してください。

# 第2章 インストール

## 始める前に

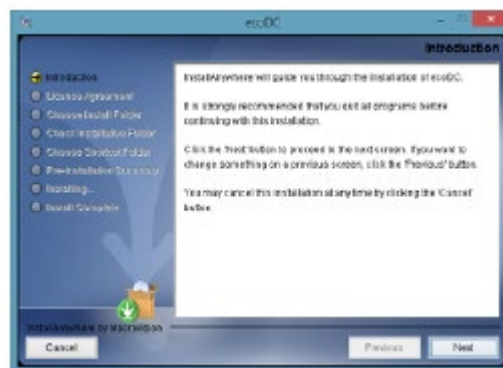
---

eco DC Web GUIは ATEN の Web サイトからダウンロードできます。このパッケージのインストールを行うにはプロダクトキーが必要となります。ソフトウェアをダウンロードし、そのファイルをコンピューターの任意の場所に保存したら、下記の手順に従って操作を行ってください。

## eco DC のインストール

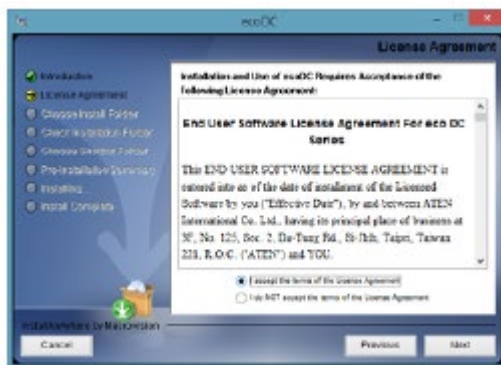
---

1. eco DC のセットアップファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動してください。そうすると、下図のような初期画面が表示されます。



「Next」(次へ)をクリックして操作を続けてください。

2. 「License Agreement」(ライセンス使用許諾契約)のウィンドウが表示されます。



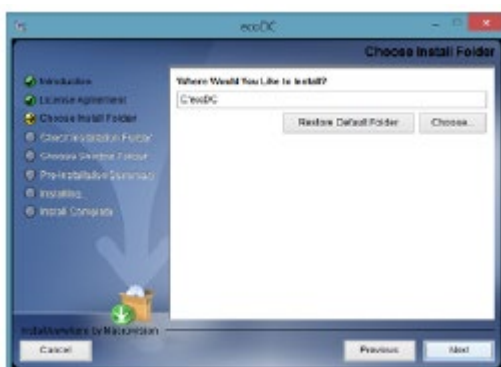
「I agree to the terms of this license agreement」(本使用許諾契約に合意する)ラジオボタンを選択したら、「Next」(次へ)をクリックして操作を続けてください。

3. 「Enter Serial Number」(シリアル番号の入力)ウィンドウが表示されます。



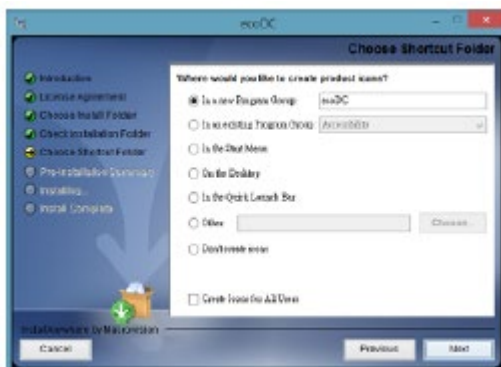
シリアル番号を入力したら、「Next」(次へ)をクリックして操作を続けてください。

4. 「Choose Installation Folder」(インストールフォルダーの選択)画面が表示されます。



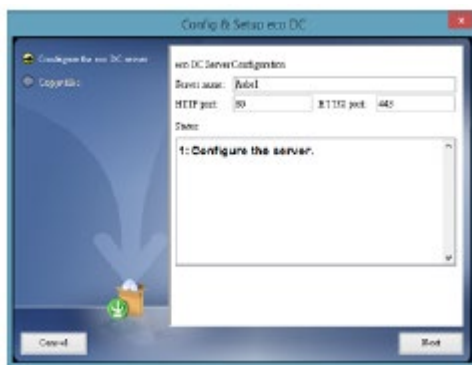
デフォルトのディレクトリを使用するか、「Choose」(選択)ボタンをクリックして、お使いのコンピュータにおける適当な場所を参照してください。「Next」(次へ)をクリックして操作を続けてください。

5. 「Choose Folder Shortcut」(フォルダーショートカットの選択)画面が表示されます。



eco DC のショートカットアイコンを配置する場所を選択したら、「Next」(次へ)をクリックして操作を続けてください。

6. 「Configure & Setup」(設定&セットアップ)画面が表示されます。

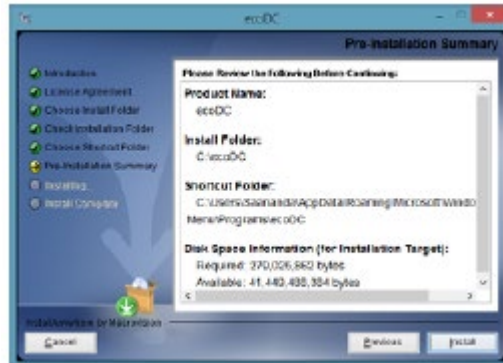


eco DC のサーバー名、HTTP ポート、HTTPS ポートを入力するか、デフォルト設定を使用してください。入力情報が正しいことを確認したら「Next」(次へ)をクリックし、操作を続けてください。

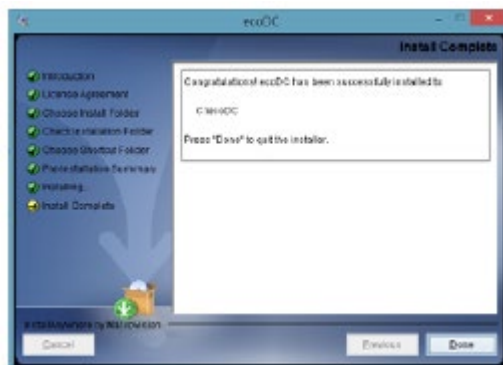
7. 設定とサーバーのセットアップが正常であることを示すウィンドウが、さらに 2 つ表示されます。「Next」(次へ)をクリックしてから、「Continue」(続行する)をクリックしてください。



8. 「Pre-Installation Summary」(インストール内容の確認)画面が表示されたら、設定内容を確認にし、「Install」(インストール)をクリックして操作を続けてください。



9. インストールが完了すると、「Installation Complete」(インストールの完了)画面が表示されます。「Done」(終了)をクリックすると、画面を終了します。



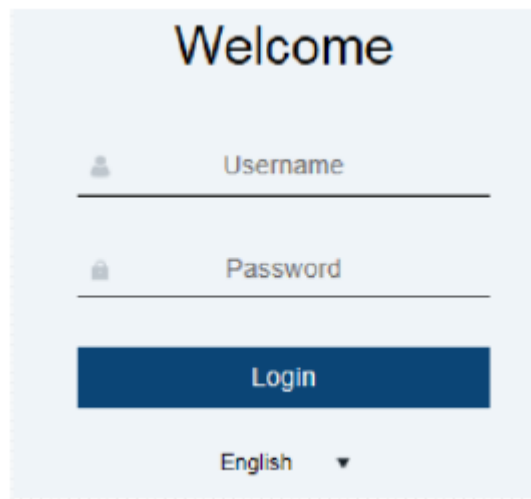
# 第3章 初回セットアップ

## ログイン

---

eco DC にログインするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. eco DC のインストールしたサーバーのアドレスバーに「127.0.0.1」と入力してアクセスしてください。
2. 下図のような eco DC のログイン画面が表示されます。



3. eco DC で有効なユーザーネームとパスワードを入力してください。

---

**注意:** 初回ログイン時には、デフォルトのアカウント(ユーザーネーム: administrator、パスワード: password)を使用してください。セキュリティ対策として、使用後に、このアカウントのパスワードを変更されることを推奨します。

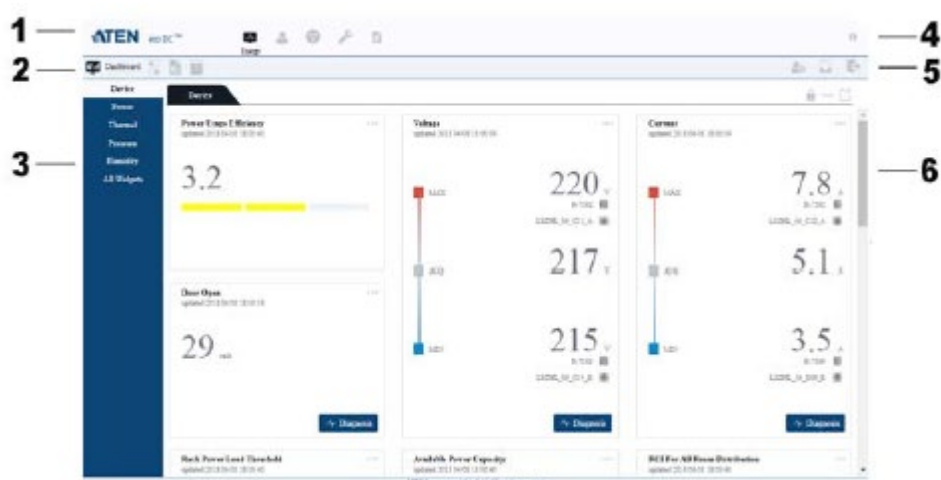
---

4. インターフェースで使用する言語を選択してください。
5. 「Login」(ログイン)をクリックして、インターフェースのメイン画面を表示させてください。

## Web ブラウザのメイン画面

ログインに成功すると、eco DC ユーザーインターフェースのメイン画面が表示されます。インターフェースの各部分については、次のセクションで説明します。また、ログインに使用されているユーザーアカウントによっては、ページの表示内容が若干変わります。

ユーザーがログインし、権限が与えられると、「Dashboard」(ダッシュボード)の「Device」(デバイス)が開いた状態で、Web ブラウザのメイン画面が表示されます。



この画面における各部分については、次のページで説明します。

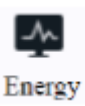




## ページ構成

本製品のブラウザインターフェースは下表の各部分から構成されています。

No.	項目	説明
1	タブバー	タブバーには、eco DC においてメインとなる操作カテゴリーが含まれています。ここに表示されるアイテムは、ユーザーの種類、およびユーザー作成時に選択された操作権限によって確定します。
2	メニューバー	メニューバーには、タブバーで選択された項目に関連する操作サブカテゴリーが含まれています。ここに表示されるアイテムは、ユーザーの種類、およびユーザー作成時に選択された操作権限によって確定します。
3	サイドバー	サイドバーには、選択されたタブバーやメニューバーに関連したオプションが一覧表示されます。ここにあるオプションをクリックすると、そのオプションに関連した詳細画面へと遷移します。
4	バージョン情報	eco DC に現在インストールされているファームウェアのバージョン情報が表示されます。
5	設定	これらのボタンをクリックすると、現在のセッションに関連したオプションを選択します。
6	双方向性ディスプレイパネル	これはメインの作業エリアとなります。選択したタブバー、メニューバー、サイドバーを反映した画面が表示されます。




## タブバー

画面上部にあるタブバーに表示されるアイコンの数と種類は、ユーザータイプ(アドミニストレーターまたはユーザー)、およびユーザー作成時に割り当てられた操作権限によって確定します。各アイコンに関連した機能は下表のとおりです。

アイコン	機能
 Energy	<b>Energy</b> (エネルギー):この画面では、お使いの PDU やデータセンターにおけるエネルギー使用に関する情報を参照することができます。この画面は、すべてのユーザーがご利用いただけます。
 User	<b>User</b> (ユーザー):この画面では、ユーザーやグループを作成したり管理したりすることができます。このタブは、ユーザー管理の操作権限が与えられているアドミニストレーターだけが利用可能で、その他のユーザーには表示されません。
 Device	<b>Device</b> (デバイス):この画面では、デバイスを追加したり、データセンターにおける操作全般を設定したりすることができます。この画面は、デバイス管理の操作権限が与えられているアドミニストレーターだけが利用可能で、その他のユーザーには表示されません。
 System	<b>System</b> (システム):この画面では、eco DC Web GUI の操作全般を管理するのに役立つ各種システムオプションを管理することができます。この画面は、システム管理の操作権限が与えられているアドミニストレーターだけが利用可能で、その他のユーザーには表示されません。
 Logs	<b>Logs</b> (ログ):この画面では、ログファイルのコンテンツを参照することができます。この画面は、ログの操作権限が与えられているアドミニストレーターだけが利用可能で、その他のユーザーには表示されません。

## 設定

「Settings」(設定)アイコンは、全ユーザーに対して表示されます。メニューバーの右端には、3種類アイコンが表示されます。各アイコンに関連した機能は下表のとおりです。

アイコン	機能
	<p><b>Preference</b>(ユーザー設定):このアイコンをクリックすると、現在ログインしているユーザーの個人設定を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <b>Idle Timeout</b>(アイドルタイムアウト):ユーザーが Web セッションから自動的にログアウトさせられるまでに経過可能な時間を設定します。</li><li>◆ <b>Max Notifications</b>(最大通知数):このアイコンをクリックすると、表示される通知の最大数を設定します。ここでは、どの通知を表示するかも設定することができます(p.95「イベント」参照)。</li><li>◆ <b>Password</b>(パスワード):この項目を使うと、「<b>Reset Password</b>」(パスワードのリセット)をクリックすることで新規パスワードを作成します。この場合、古いパスワードと新パスワード、および確認パスワードの入力が求められます。</li><li>◆ <b>Discard</b>(破棄):この項目をクリックすると、変更内容を保存せずに終了します。</li><li>◆ <b>Save</b>(保存):この項目をクリックすると、変更内容を保存します。</li></ul>
	<p><b>Notifications</b>(通知):このアイコンは、セットアップ済みの通知を参照したり削除したりするのに使用します。アイコンをクリックすると、参照、削除、記録、削除がそれぞれ可能なオプションを表示します。どの通知を受け取るかを選択するには、p.95「イベント」を参照してください。</p>
	<p><b>Exit</b>(終了):このアイコンをクリックすると、eco DC の Web セッションからログアウトします。</p>

## クイックセットアップの手順

---

一旦ログインすると、ATEN eco DC を使用してデバイスの監視や管理を始める前に、データセンターを定義し、各種パラメーターを設定する必要があります。ここで必要となる作業は、PDU の追加と PDU しきい値の定義、レイアウトの定義、ラックの追加、そしてラックへの PDU の追加です。

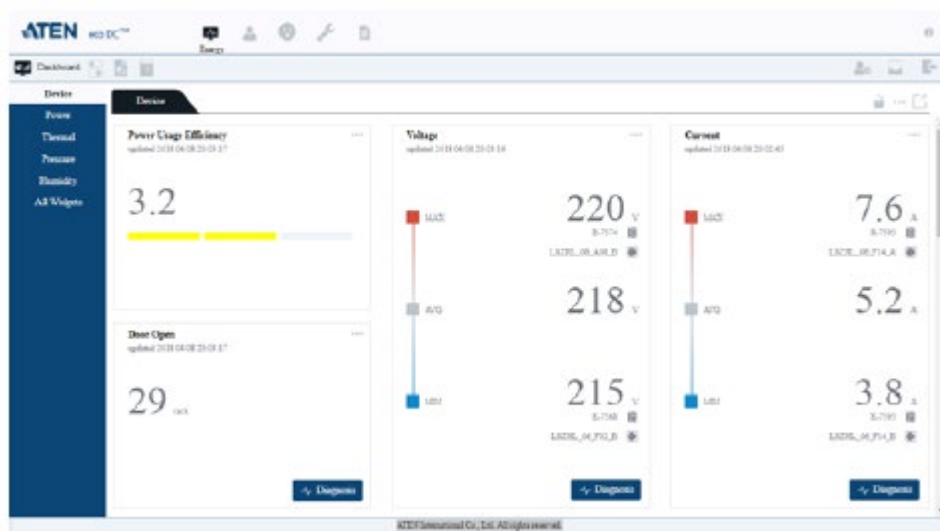
下記の手順は、こういった作業を正常に行うためには、ユーザーマニュアルのどのセクションを参照したらよいかを簡単にまとめたものです。

1. 「Device」(デバイス)の「Installation」(セットアップ)にアクセスしたら、「**Device**」(デバイス)タブで ATEN PDU を追加してください(p.64「デバイスの追加」参照)。
2. 「Device」(デバイス)における「Installation」(セットアップ)の「**Device**」(デバイス)タブのサイドバーから PDU を選択して、各デバイスに対するしきい値を設定してください(p.65「デバイス」参照)。
3. 「Device」(デバイス)における「Installation」(セットアップ)の「**Layout**」(レイアウト)タブでデータセンターをセットアップしてください。ここでは、データセンター、建物、フロア、部屋の追加を行います(p.72「レイアウト」参照)。
4. 「Device」(デバイス)における「Installation」(セットアップ)の「**Layout**」(レイアウト)タブで、部屋を選択したら、ここにラックを追加し、ラックに PDU を追加してください(p.75「ラックの追加」参照)。
5. 上記の手順で基本的なセットアップを終えたら、p.20「エネルギー」に進んでください。

# 第4章 エネルギー

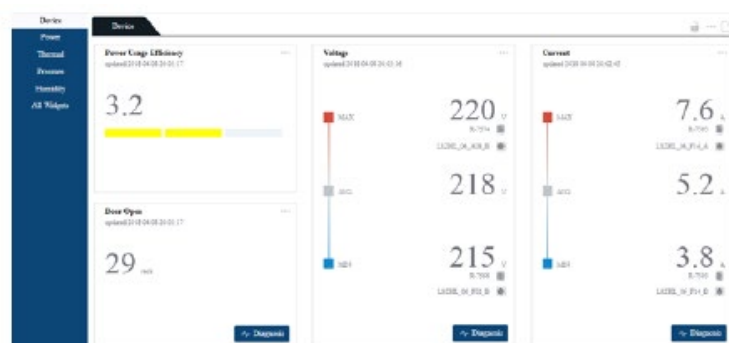
## 概要

「Energy」(エネルギー)タブには、4種類のメニューバーオプションが提供されています。このメニューバーは、電力測定と環境監視をリアルタイムで参照できる「Dashboard」(ダッシュボード)、PDUとアウトレットの電力を管理する「Power Control」(電源制御)、エネルギー使用のレポートを生成する「Analysis」(分析)、そしてグループ制御タスクを作成する「Schedule」(スケジュール)といったオプションから構成されています。



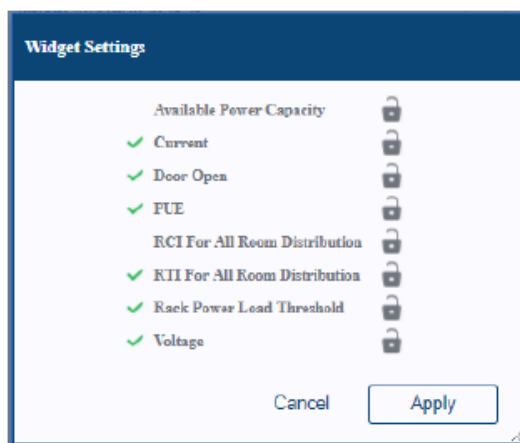
## ダッシュボード

ダッシュボードは、お使いのデータセンターに関して収集されたエネルギーと環境に関する情報全般が提供される「ウィジェット」を特長とします。サイドバーには、メインパネルで関連データを参照できる5種類のカテゴリー（デバイス、電力、温度、気圧、湿度）が一覧表示されます。サイドバーの項目を選択すると、お使いのデータセンターに関する各種情報を表示することができます。



右上には、次の3種類のアイコンがあります。

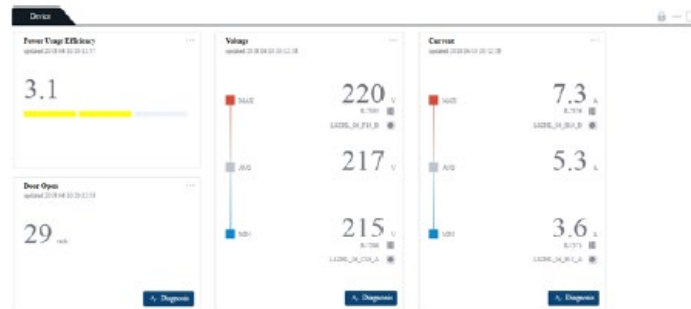
- ◆ **鍵マークのアイコン**は、画面上におけるすべてのウィジェットの位置を固定します。
- ◆ **三点リーダーのアイコン**は、ウィジェットの追加や削除、また、画面上における位置の固定を行うことができます(下図参照)。
- ◆ **新規ウィンドウのアイコン**は、新規ウィンドウをポップアップさせ、現在のデータを表示します。



「Widget Settings」(ウィジェット設定)で一覧表示されているウィジェットを「Dashboard」(ダッシュボード)画面から追加または削除するには、対象となる項目にチェックを入れたり外したりすることで設定できます。操作が完了したら、「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## ウィジェット

ダッシュボードのウィジェットには、お使いのデータセンターにおける使用エネルギーと使用環境に関する様々な側面の情報が表示されます。ウィジェットの位置は、画面右上のロックアイコンを使ってウィンドウのロックを解除してから、画面の任意の位置にドラッグ&ドロップをすることで、自由に配置することができます。また、ウィンドウ右上の「×」をクリックすると、画面からウィジェットを削除することができます。



「**Diagnosis**」(診断) ボタンをクリックすると、新規ウィンドウが立ち上がり、データの詳細情報(内容は次のセクションで説明)が表示されます。ダッシュボードで監視用に追加可能な各ウィジェットについては、この後のセクションにて説明します。診断ウィンドウでは、左側のサイドバーからデータを参照したい部屋を選択することができます。

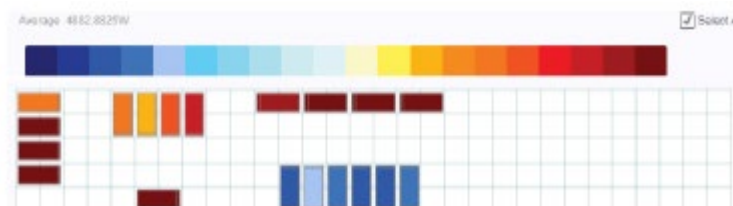
### クイックビュー カラースケール

診断セクションでは、同じカラースケールを使用していますが、各度数の単位は異なります。例えば、「Power Consumption」(消費電力)タブにある「Power」(電力)では、0.7~4.3kWh の目盛りが下図のように表示されます。



目盛りで色を選択すると、その色が示す値に該当するラックが強調表示されます。

「**Select All**」(すべて選択)をチェックすると、その度数に応じた色のラックを参照することができます。ラックは、それぞれの目盛りの状態に関連された色で表示されます。

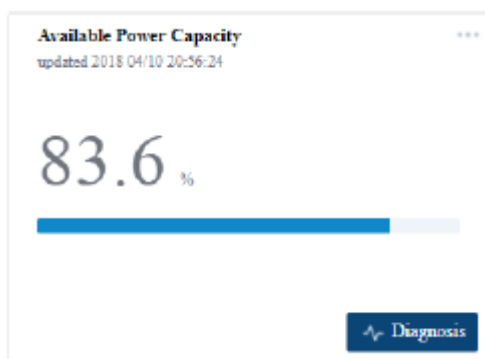


## デバイス

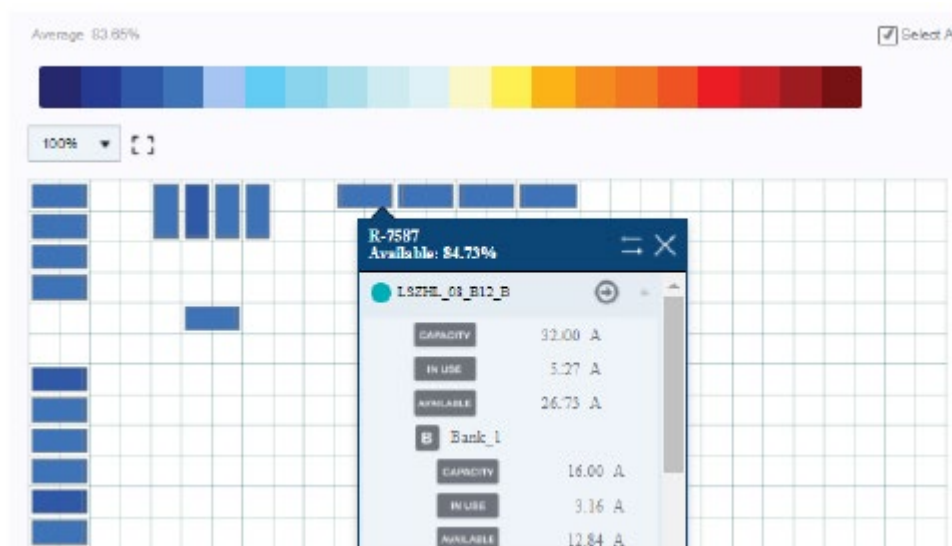
### 利用可能な電力容量

ここでは、全ラックで利用可能な電力の平均をパーセントで表示します。利用可能な電力容量は、ラックデバイス用の標準公式を使用します


$$\text{全体の電力容量 (KWh)} - \text{使用電力 (KWh)} = \text{利用可能な電力容量 (KWh)}$$



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。

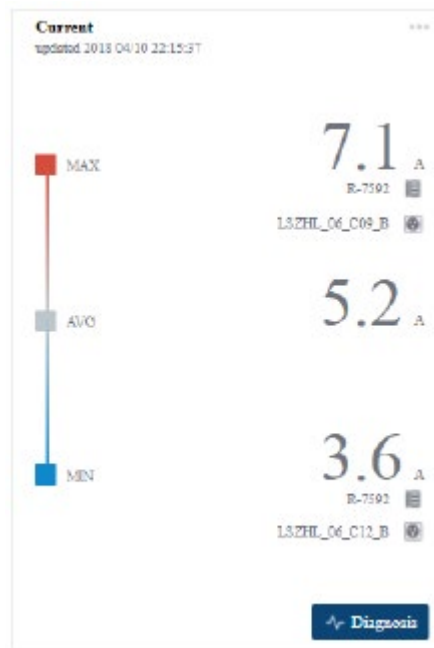


マウスを各ラックの上に移動すると、そのラックで利用可能な電力のパーセンテージを表示します。各ラックの利用可能な電力容量は 5%の増分ごとに色分けして表示されます。「Select All」(すべて選択)の項目からチェックを外し、色をクリックすると、記録されているデータが、その 5%の範囲に該

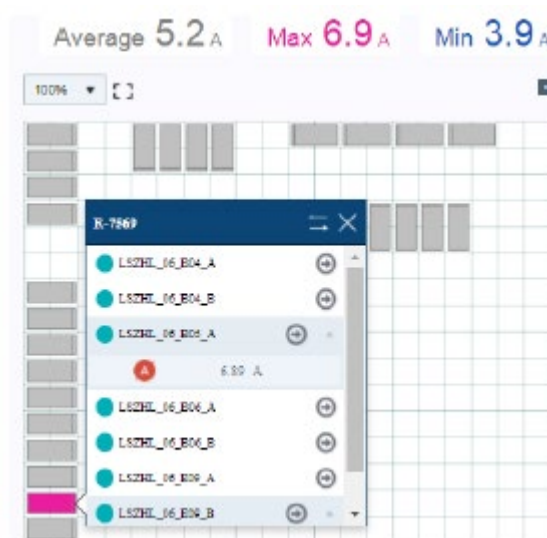
当するラックを参照します。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

## 電流


ここでは、2 台のデバイスにおける電流のリアルタイム最小/最大測定値、および全デバイスにおける電流の平均測定値が表示されます。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



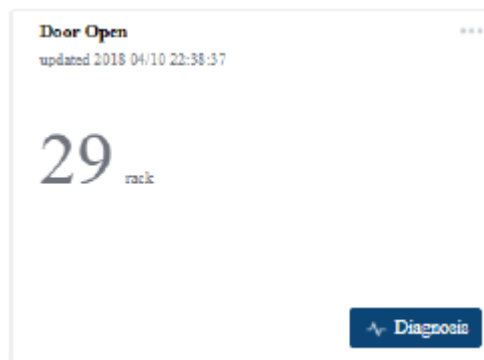
各ラックをクリックすると、そのラックの電流読み出し値を表示することができます。電流読み出し

値の平均値、最大値、最小値は、色分けされて表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

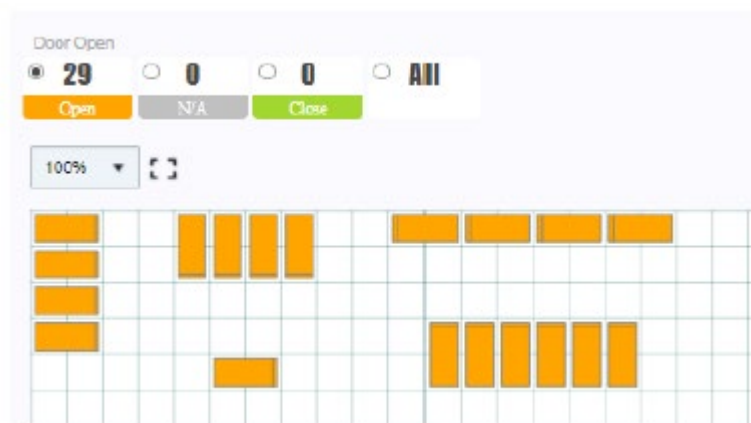
## ラックドア開閉状態

ここでは、ドアセンサー (EA1440、EA1441 または EA1442) がセットアップされた各キャビネットドアの開閉状態を表示します。各色が表すドアの状態は下記のとおりです。


- ◆ グリーン:ラックのドアが閉まっています。
- ◆ グレー:ドアセンサーがセットアップされていません。
- ◆ オレンジ:ラックのドアが開いています。



「**Diagnosis**」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。

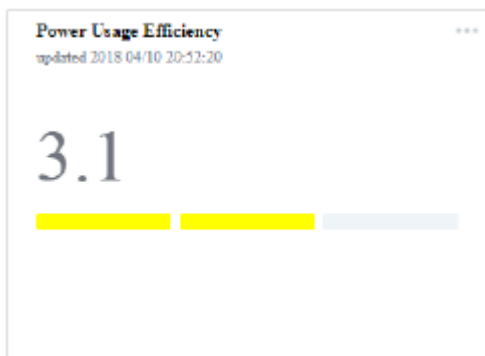


ラジオボタン(「Open」(開く)、「N/A」、「Close」(閉じる))をクリックすると、そのボタンが表す状態に該当するラックを表示します。各色が表す状態は、ラジオボタンの見出しの項目に相当します。

ラックを選択し、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

## 電力使用効率

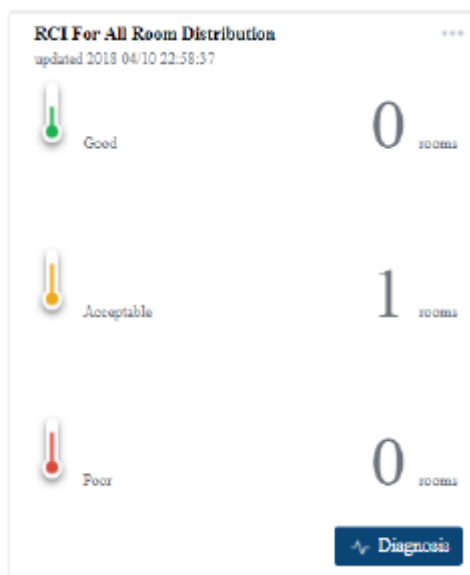
電力使用効率(PUE)とは、データセンターによって使用されるエネルギー全体のうち、接続機器に配分されるエネルギーの割合のことを言います。PUE は、データセンターのインフラ効率(DCIE)に反比例します。



PUE 読み出し値	DCIE	効率レベル
3.0 以上	33%	非常に効率が悪い
2.5	40%	効率が悪い
2.0	50%	平均的
1.5	67%	効率が良い
1.2	83%	非常に効率が良い


## すべての部屋に対するラック冷却効率

ここでは、ラック冷却指数(RCI)が表示されます。RCIは産業用温度指針および基準内において、機器ラックがいかに効率的に冷却され、維持されているかを知る評価基準であり、冷却性能の有用な測定基準として機能します。ここでは、この RCI の値の評価(良い、平均的、悪い)ごとの部屋数がグラフ表示されます。



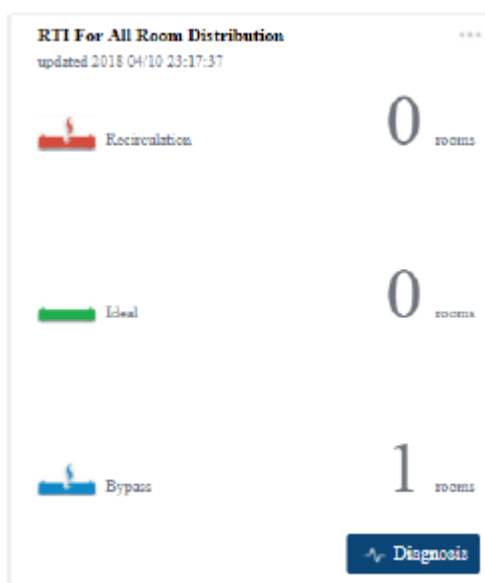
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



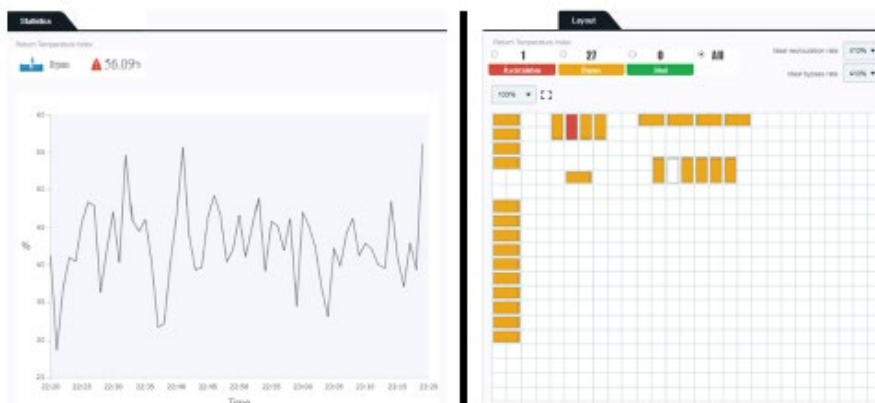
マウスでラックをクリックすると、そのラックの読み出し値を表示します。また、色は読み出し値と温度ごとのラック数を表します。ラジオボタンを使うと、そのボタンが表す温度の範囲を強調表示します。ラックを選択し、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## すべての部屋に対するラック冷却効率

ここでは、ラック冷却指数(RCI)が表示されます。RTIは空調管理のパフォーマンスを知る評価基準であり、エアフロー性能の有用な測定基準として機能します。ここでは、このRTIの値の評価(再循環、適切、バイパス)ごとの部屋数がグラフ表示されます。



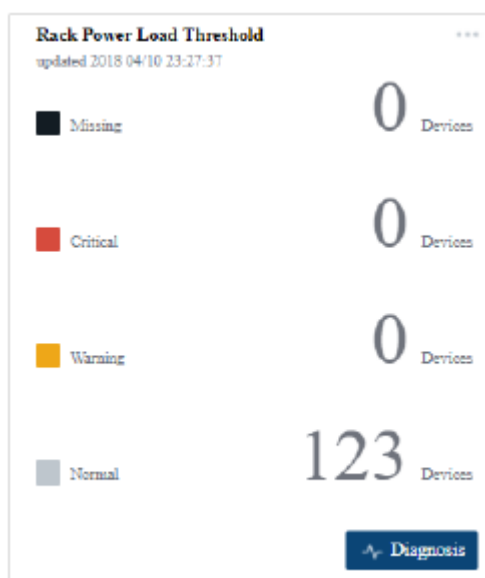
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



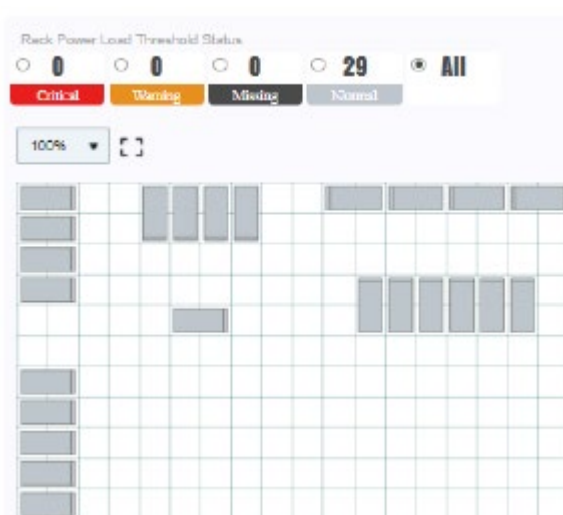
マウスでラックをクリックすると、そのラックの読み出し値を表示します。また、色は、上図のように読み出し値ごとのラック数を表します。「Ideal recirculation」(理想的な再循環)と「Ideal bypass rate」(理想的なバイパス)のドロップダウンメニューを使うと、各々の値を変更します。ラジオボタンを使うと、各読み出し値ごとにラックを強調表示します。ラックを選択し、「


## ラックの電力しきい値

ここでは、各ラックの電力しきい値が、4段階(致命的、警告、不明、正常)のレベルで表示されます。



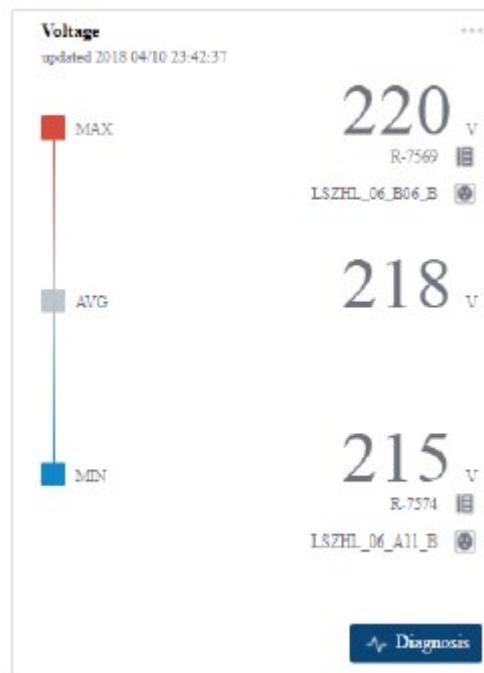
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



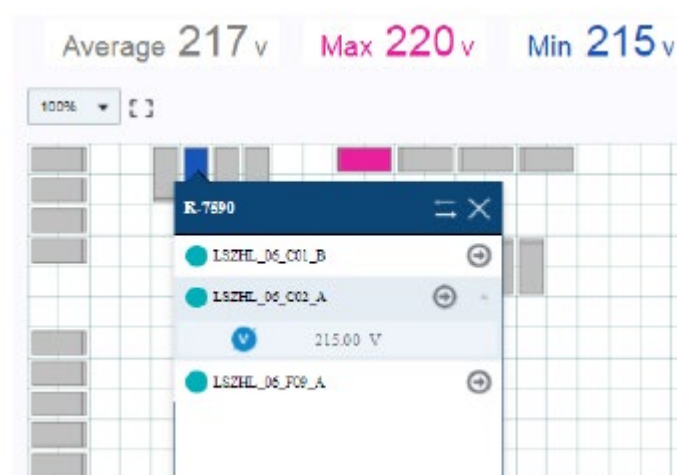
ラックにおける各デバイスをクリックすると、そのデバイスにおける、すべての読み出し値を表示します。読み出し値は種類別に色分けして表示されます。ラジオボタンを使うと、その読み出し値に該当するラックが強調表示されます。また、ラックをクリックしてから「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## 電圧

ここでは、2 台のデバイスにおける電圧のリアルタイム最小/最大測定値、および全デバイスにおける電圧の平均測定値が表示されます。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



各ラックをクリックすると、そのラックの電圧読み出し値を表示することができます。電圧読み出し値の平均値、最大値、最小値は、色分けして表示されます。また、「

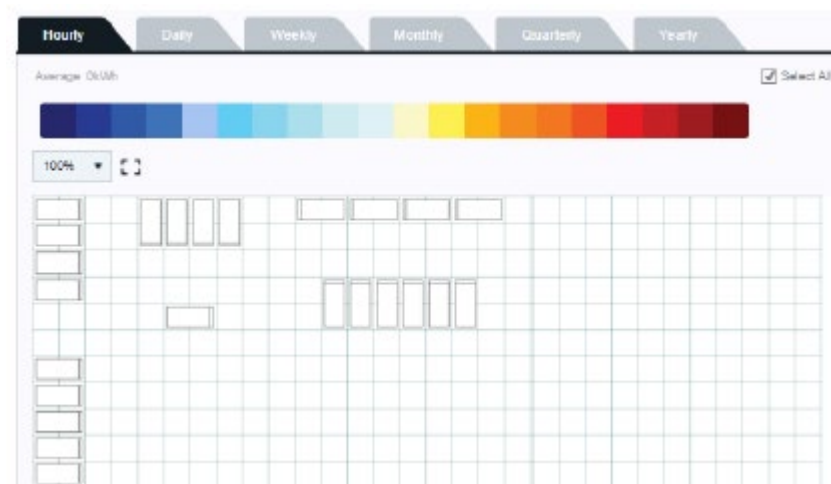
## 電力


### 消費電力

ここでは、2 台のデバイスにおける消費電力のリアルタイム最小/最大測定値、および全デバイスにおける消費電力の平均測定値が表示されます。



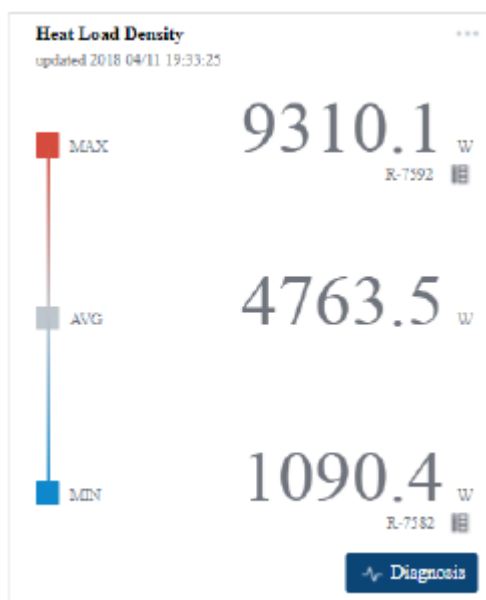
「**Diagnosis**」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



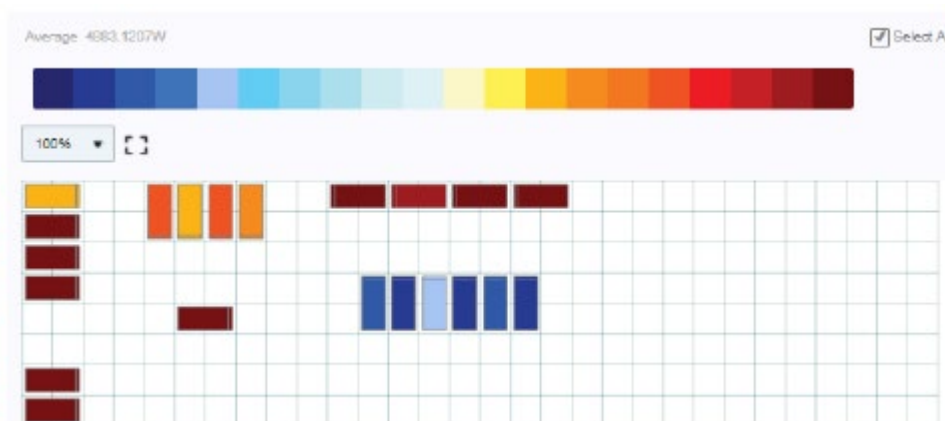
各ラックをクリックすると、そのラックの消費電力読み出し値を表示することができます。消費電力読み出し値の平均値、最大値、最小値は、色分けして表示されます。また、タブをクリックすると、特定の時間単位ごとに消費電力を参照することもできます。「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

## 熱負荷密度


ここでは、2 基のラックにおける熱負荷密度のリアルタイム最小/最大測定値、および全ラックにおける熱負荷密度の平均測定値が表示されます。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



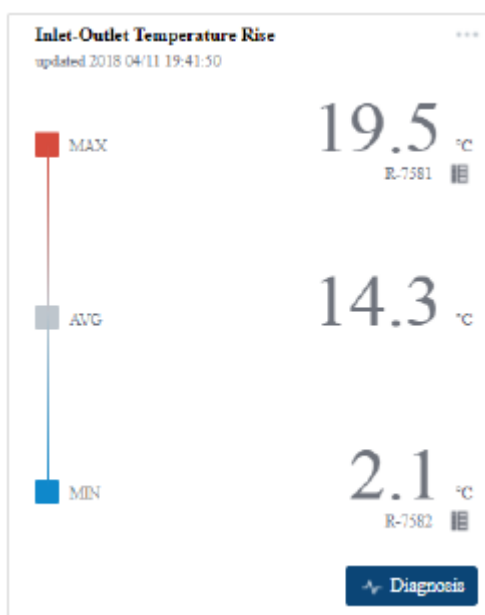
各ラックをクリックすると、そのラックにおける熱負荷密度の読み出し値を表示することができます。

熱負荷密度の読み出し値は、一定の範囲ごとに色分けされて表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

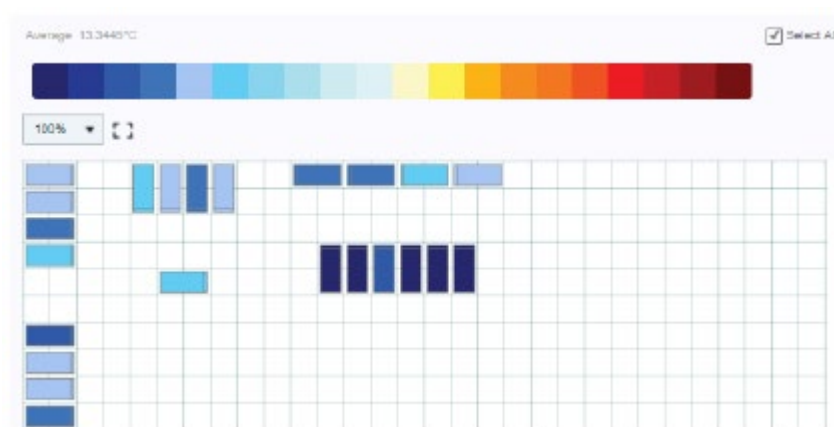
## 温度

### インレット - アウトレットの温度上昇


ここでは、インレット - アウトレットにおけるリアルタイムの温度上昇値について、最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、2～20℃の範囲を表しています。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。

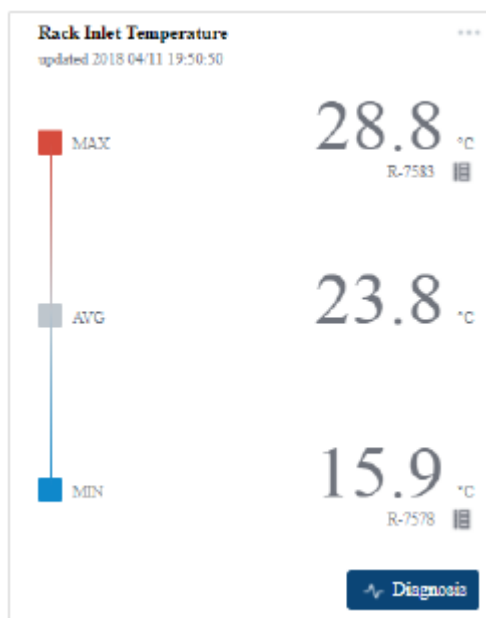


各ラックをクリックすると、そのラックにおけるインレット - アウトレットの温度上昇読み出し値を表示します。インレット - アウトレットの温度上昇値は、一定の範囲ごとに色分けして表示されます。

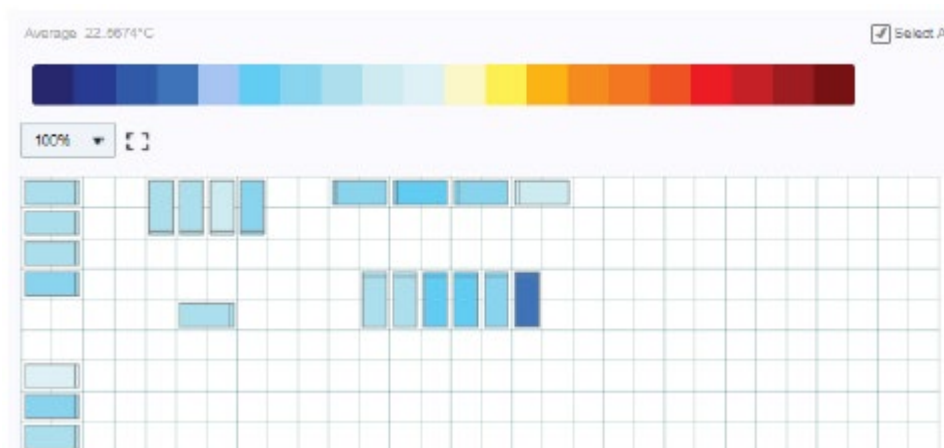
また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## ラック吸気温度

ここでは、リアルタイムで読み出されたラック吸気温度の最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、10～45℃の範囲を表しています。



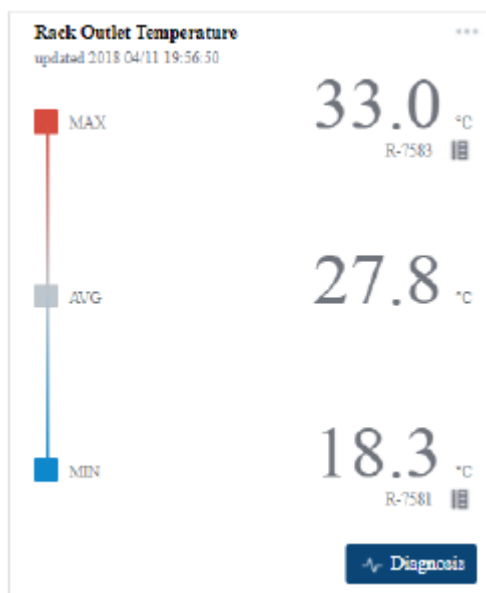
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



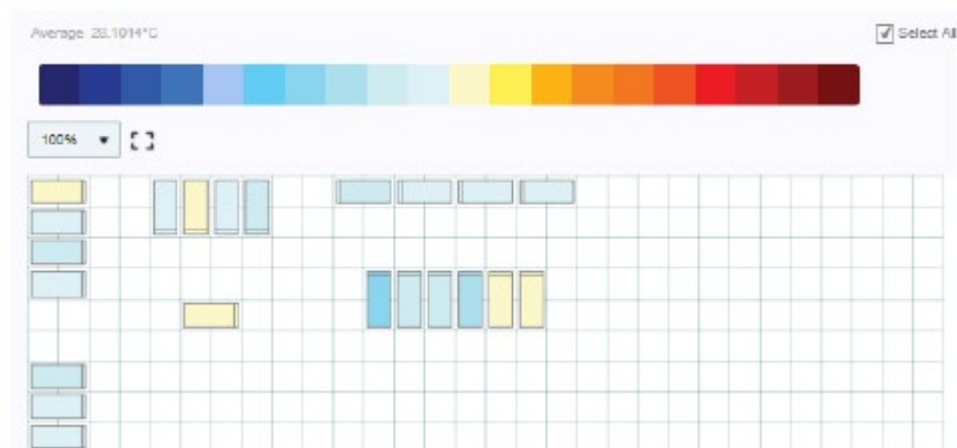
各ラックをクリックすると、そのラックにおける吸気温度の読み出し値を表示します。ラック吸気温度は一定の範囲ごとに色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## ラックアウトレット温度

ここでは、リアルタイムで読み出されたラックアウトレット温度の最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、10～45℃の範囲を表しています。



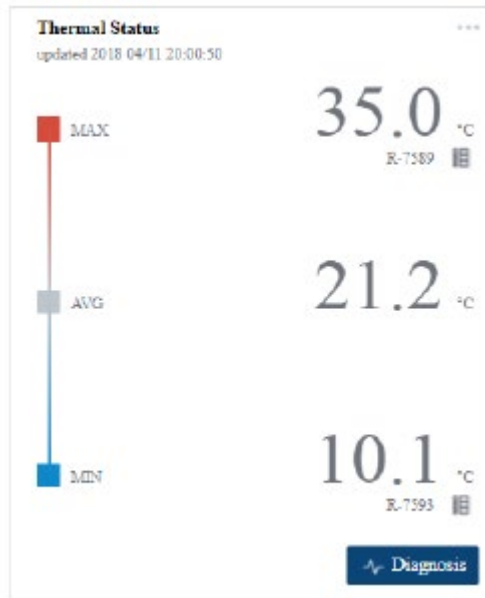
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



各ラックをクリックすると、そのラックにおけるアウトレット温度の読み出し値を表示します。ラックアウトレット温度は一定の範囲ごとに色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## 温度状態

ここでは、リアルタイムで読み出された温度状態の最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、10～45℃の範囲を表しています。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。

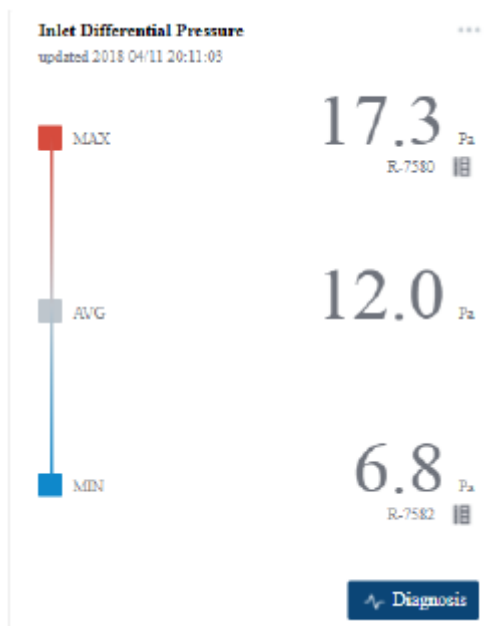


各ラックをクリックすると、そのラックにおける温度の読み出し値を表示します。温度は一定の範囲ごとに色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に移ります。

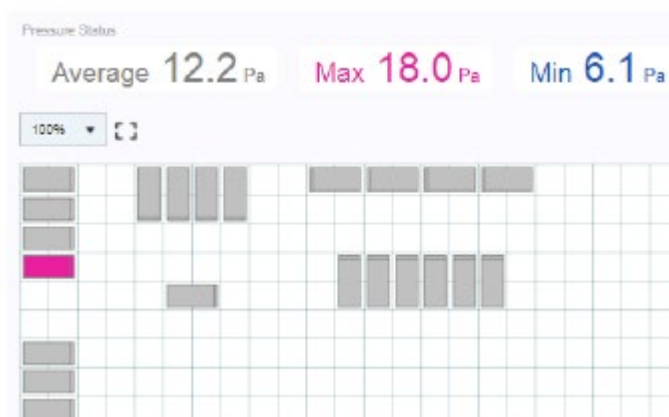
## 気圧


### 吸気差圧

ここでは、リアルタイムの吸気差圧について、最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、0～200Pa の範囲を表しています。



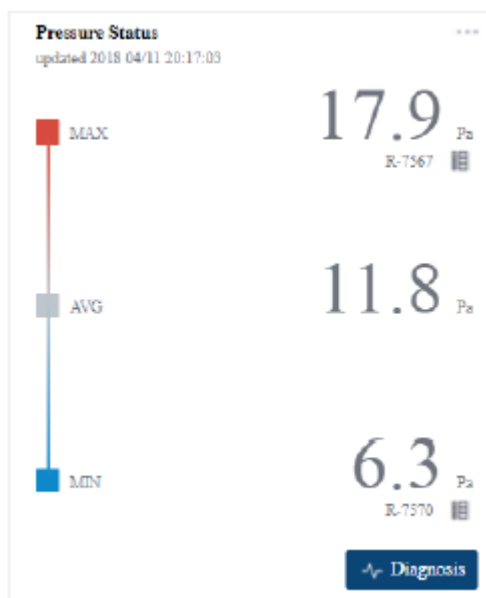
「**Diagnosis**」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



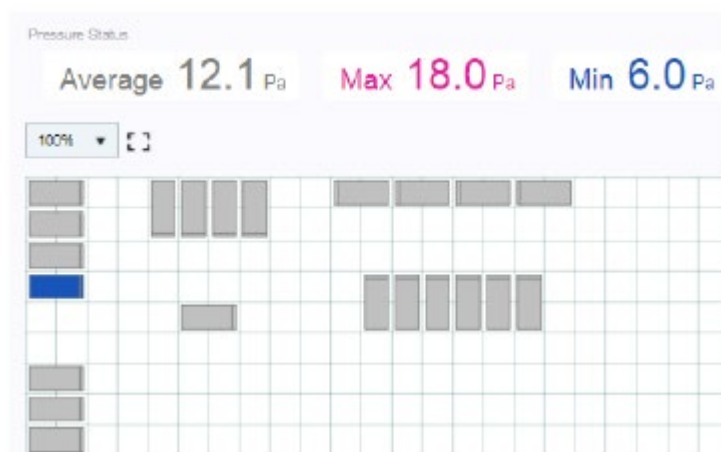
各ラックをクリックすると、そのラックにおける吸気差圧の読み出し値を表示します。読み出し値は、値別(平均値、最大値、最小値)に色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## 気圧状態

ここでは、リアルタイムで読み出された気圧の最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、0～200Pa の範囲を表しています。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。

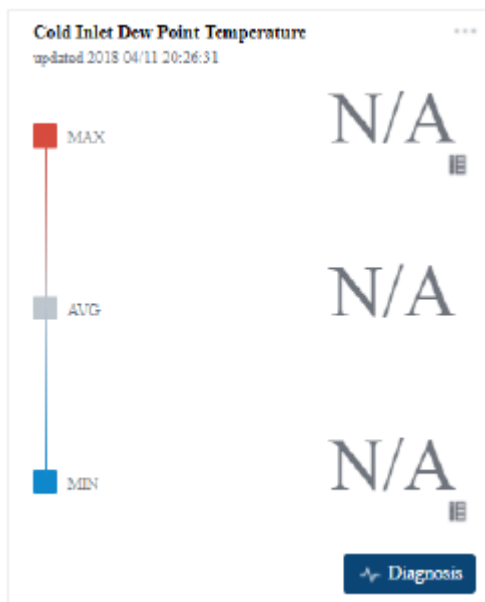


各ラックをクリックすると、そのラックにおける気圧状態の読み出し値を表示します。読み出し値は、値別(平均値、最大値、最小値)に色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

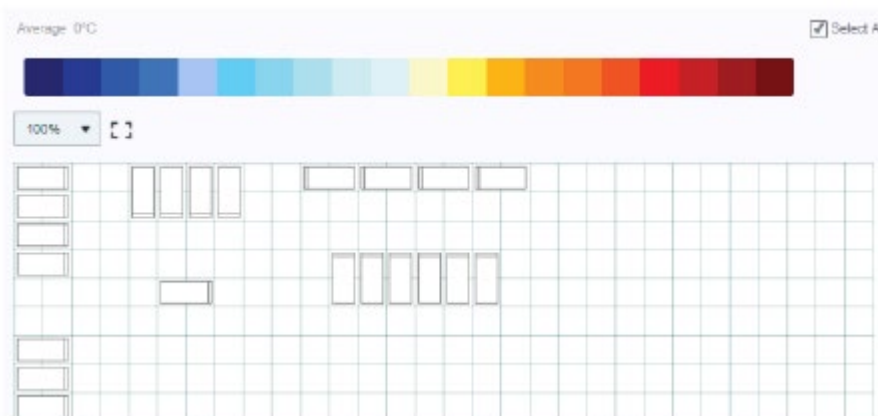
## 湿度


### 外気吸入露点温度

ここでは、リアルタイムの外気吸入露点温度について、最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、0～15°Cの範囲を表しています。



「**Diagnosis**」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



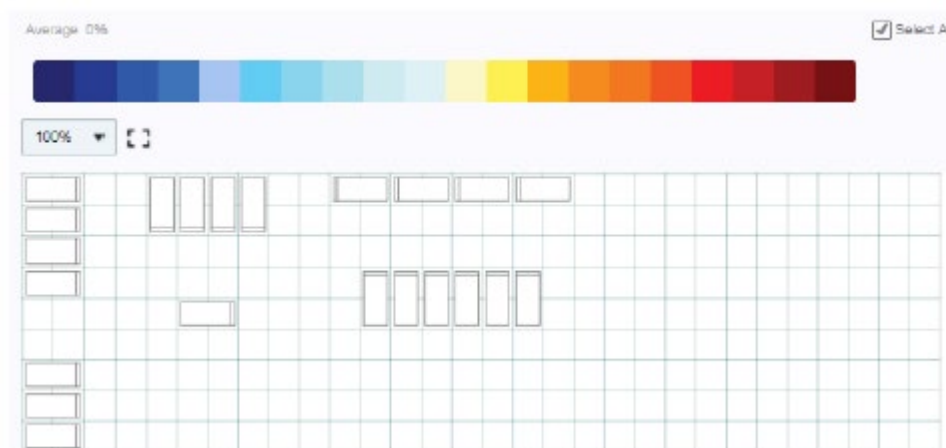
各ラックをクリックすると、そのラックにおける外気吸入露点温度の読み出し値を表示します。温度は一定の範囲ごとに色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## 外気吸入湿度

ここでは、リアルタイムの外気吸入湿度について、最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、10～90%の範囲を表しています。



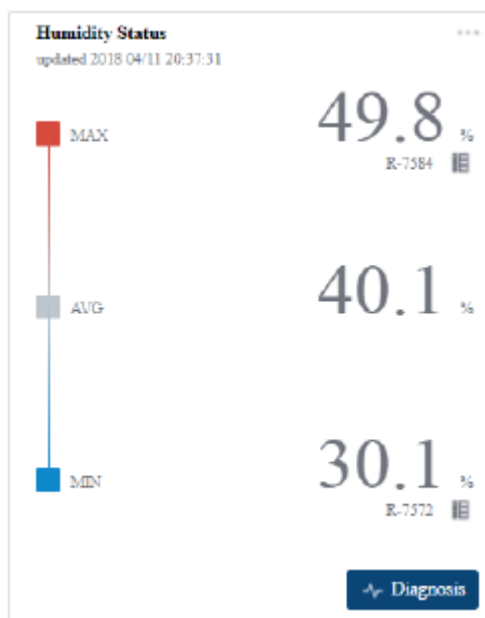
「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



各ラックをクリックすると、そのラックにおける外気吸入湿度の読み出し値を表示します。温度は一定の範囲ごとに色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。


## 湿度状態

ここでは、リアルタイムで読み出された湿度の最小値、最大値、および平均値が表示されます。カラースケールは、0～90%の範囲を表しています。



「Diagnosis」(診断)をクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、ラックデータの詳細を参照するためのオプションが表示されます。



各ラックをクリックすると、そのラックにおける湿度状態の読み出し値を表示します。読み出し値は、値別(平均値、最大値、最小値)に色分けして表示されます。また、「」をクリックすると、デバイスの電源制御の画面に遷移します。

## すべてのウィジェット

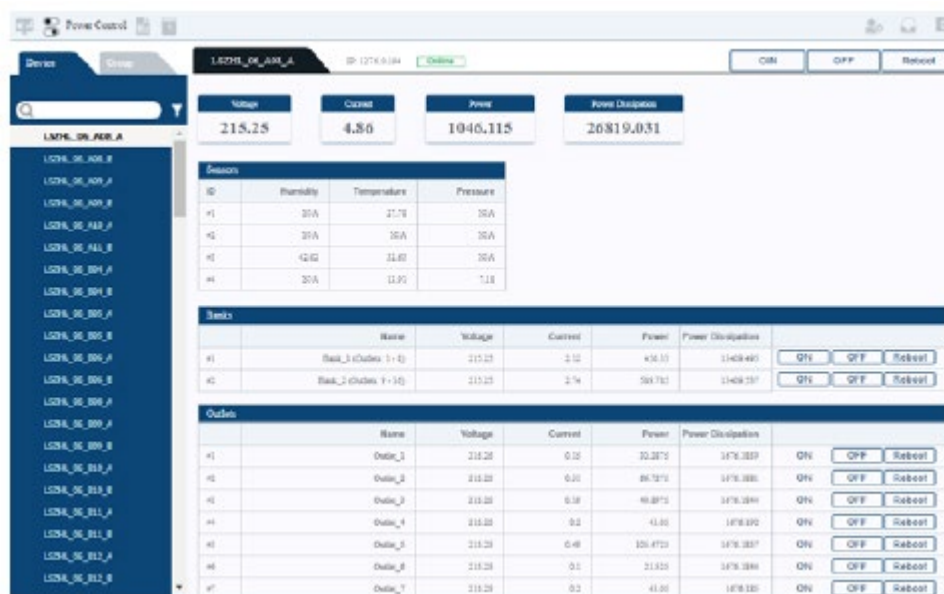
ここでは、サイドバーに列挙された各カテゴリのウィジェットが表示されます。

## 電源制御

「Power Control」(電源制御)メニューバーのセクションを使うと、デバイスまたはアウトレットレベルで電源を手動で管理したり、お使いのデータセンターのエネルギーと環境に関する詳細情報を表示したりすることができます。

**注意:** 一部の eco PDU PE モデルは、アウトレットレベルでの電源管理に対応していません。詳細は、p.9「対応 ATEN デバイス」および eco PDU PE ユーザーマニュアルを参照してください。

サイドバーでデバイスをクリックすると、そのデバイスの画面が表示され、電圧、電流、電力、消費電力に関する情報が PDU、バンク、アウトレットのレベルで表示されます。



画面のトップバーには、PDU 名、IP アドレス、オンライン状態、およびデバイスの電源を手動で管理できる電源 ON/OFF/再投入のオプションが表示されます。

## センサー

この部分はセンサーに関する状態が読み取り専用で表示されます。

## バンク

電源 ON/OFF/再投入のオプションを使うと、バンクの電源を手動で管理します。

## アウトレットの状態

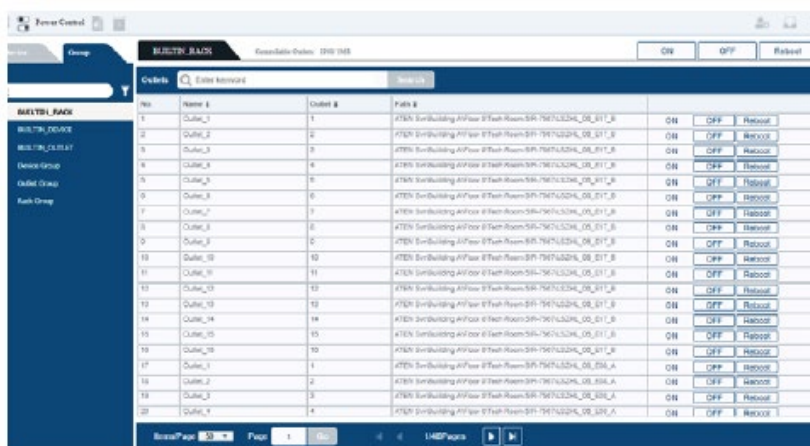
電源 ON/OFF/再投入のオプションを使うと、個々のアウトレットの電源を手動で管理します。

## グループ制御

「Group」(グループ)タブを使うと、作成済みデータグループのアウトレットレベルにおける電源管理を手動で同時に実行します。

- 
- 注意:**
1. 電源管理制御用のグループ作成に関する詳細については、p.77「データグループ」を参照してください。
  2. 一部の eco PDU PE モデルは、アウトレットレベルでの電源管理に対応していません。詳細は、p.9「対応 ATEN デバイス」および eco PDU PE ユーザーマニュアルを参照してください。
- 

サイドバーにあるグループをクリックすると、下図のような画面が表示されます。



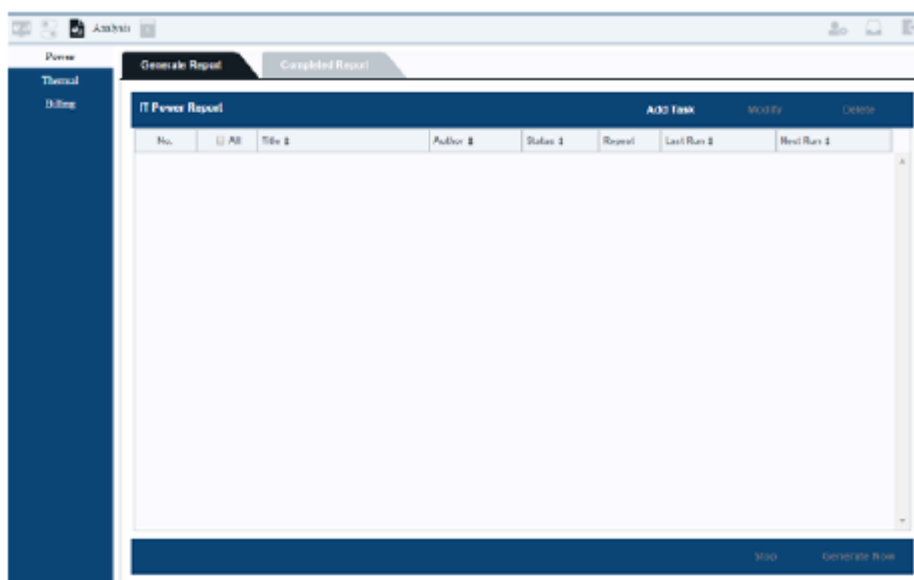
サイドバーには定義済みグループが表示され、選択すると、アウトレットをグループごとに管理することができます。トップバーにある「ON」、「OFF」、「Reboot」(再起動)の各ボタンを使うと、アウトレットグループの再起動を行います。また、メインパネルでアウトレットの隣にある同様の電源オプションを使うと、アウトレットごとに電源管理を行います。

## 分析

「Analysis」(分析)画面では、お使いのデータセンターにおけるエネルギー使用、環境因子、およびコストをよりよく理解できるよう、電力、温度、および請求書のレポートを作成することができます。

### レポートの生成

「Generate Report」(レポートの生成)タブを使うと、作成するレポートのパラメーターとスケジュールを作成します。サイドバーでレポートの種類を選択してから、「Add Task」(タスクの追加)をクリックすると、レポートの設定を開始します。



この画面にある項目の詳細は下表のとおりです。

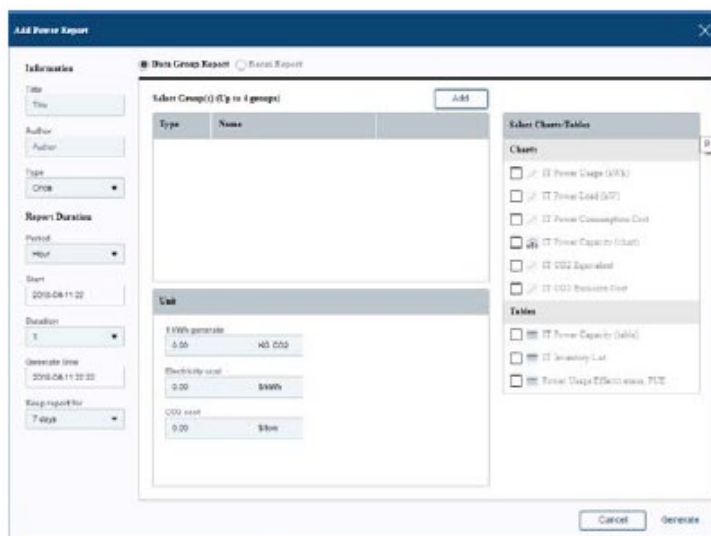
項目	説明
サイドバー	ここには、次の3種類のレポート作成用オプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <b>Power</b>(電力) - 電力使用に関するレポートを生成します。</li><li>◆ <b>Thermal</b>(温度) - 温度に関するレポートを生成します。</li><li>◆ <b>Billing</b>(請求書) - 費用に関するレポートを生成します。</li></ul>
Add Task (タスクの追加)	ここをクリックすると、ウィンドウが立ち上がり、お使いのデータセンターにおけるエネルギーおよび環境仕様に関するカスタムレポートのオプションが表示されます。

(表は次のページに続きます)

項目	説明
Modify (修正)	メインパネルにあるチェックボックスでタスクを選択して、この部分をクリックすると、そのタスクを変更します。
Delete (削除)	メインパネルにあるチェックボックスでタスクを選択して、この部分をクリックすると、そのタスクを一覧から削除します。
Stop (停止)	作成途中でタスクを終了したい場合は、この部分をクリックしてください。
Generate Now (今すぐ生成する)	メインパネルでチェックボックスにチェックを入れてタスクを選択し、この部分ををクリックすると、レポートを作成します。レポートの作成が完了すると、「Completed Reports」(作成済みレポート)タブにレポートが表示されます。

## 電力/温度

「Add Task」(タスクの追加)をクリックすると、レポートのパラメーターを設定するウィンドウが表示されます。



「Power」(電力)、「Thermal」(温度)の各項目の詳細は下表のとおりです。

項目	説明
Report Type (レポートの種類)	ラジオボタンを使ってレポートの種類を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Data Group Report</b> (データグループのレポート) - デバイスグループに関するレポートを作成します。</li> <li>◆ <b>Room</b> (部屋) - 部屋にある全デバイスに関するレポートを作成します。</li> </ul>

(表は次のページに続きます)

項目	説明
Information (情報)	「Title」(タイトル)の欄にレポート名、「Author」(作成者)の欄に作成者の名前を、それぞれ入力してください。また、「Type」(種類)ドロップダウンメニューを使って、レポートを作成する頻度(一度きり、日単位、週単位、月単位、年単位)を選択してください。
Report Duration (レポート作成頻度)	期間に基づいてレポートを作成します。 「Period」(期間、オプションは時間、日、週、四半期)、 「Start/Generate」(開始/作成、レポートを開始/終了したい場合)、 「Duration」(期間の数、1~24)を入力したら、「Keep Report For」(レポート保存期間)ドロップダウンメニューを使って、レポートが削除されるまで保存しておく時間を選択してください。レポートを削除しないようにするには「Permanent」(永続的)を選択してください。
Add (追加)	この部分をクリックすると、レポートの作成対象となるデバイスグループまたは部屋を最大4つ追加することができます。
Unit (単位)	データグループ(電力レポートのみ)が選択されている場合は、お使いのデータセンターのエネルギー費に関するカスタムレポートを生成できるよう、これら3つのパラメーターを設定する必要があります。
Select Charts / Tables (グラフ/表の選択)	レポート用に収集したい情報の種類(複数選択可)のチェックボックスにチェックを入れて選択してください。選択項目が多くなればなるほど、レポート作成に要する時間も長くなります。
Generate (生成)	パラメーターを入力して、「Generate」(作成)をクリックすると、レポートを一覧に追加します。

## 請求書

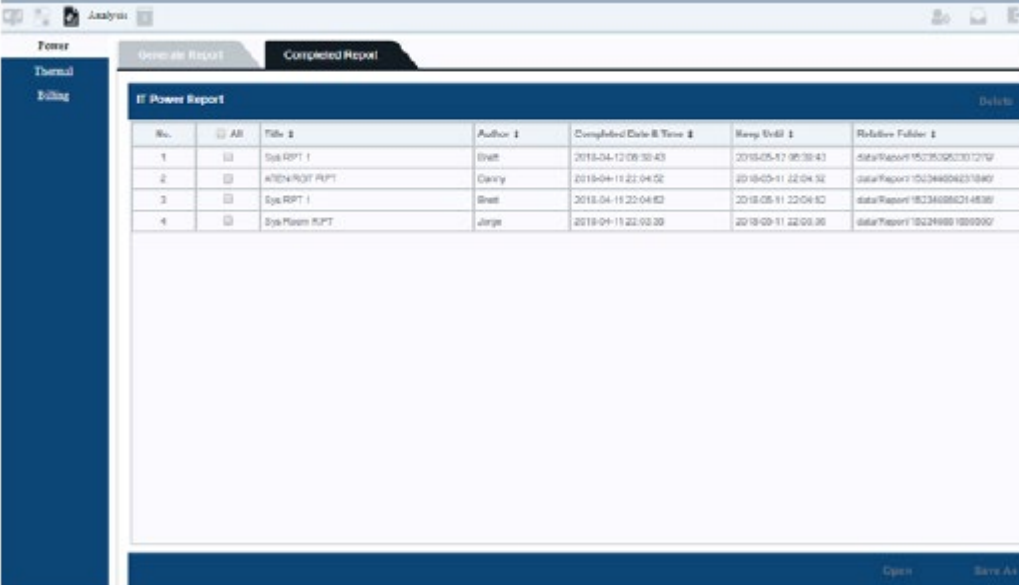
「Add Task」(タスクの追加)をクリックすると、請求書のパラメーターを設定するウィンドウが表示されます。

請求に関する各項目の詳細は下表のとおりです。

項目	説明
Add (追加)	この部分をクリックすると、請求レポートの作成対象となるデバイスグループを最大 4 つ追加することができます。
Information (情報)	「Title」(タイトル)と「Author」(作成者)の各項目を使って、カスタムレポートに関する情報を入力してください。また、「Type」(種類)ドロップダウンメニューを使って、レポートを作成する頻度(一度きり、または月単位)を選択してください。
Report Duration (レポート作成頻度)	レポート作成の対象となる月、およびレポートを作成する時間を選択してください。また、「Keep Report For」(レポート保存期間)ドロップダウンメニューを使って、レポートが削除されるまで保存しておく時間を選択してください。レポートを削除しないようにするには「Permanent」(永続的)を選択してください。
Billing Rates (請求料率)	<p>ラジオボタンを使って、料率の種類を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Single Rate</b>(単一レート) - ドル換算でレポートを作成します。 「Billing Type」(請求種類)ドロップダウンメニューを使って、次のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Total(合計):ラックデバイス全体に関するレポートです。</li> <li>➤ Rack(ラック):ラックの小計別に作成されたレポートです。</li> </ul> </li> <li>◆ <b>Dual Rate</b>(二重レート) - エネルギーコストをピーク時と非ピーク時に分けてレポートを作成します。ピーク時料金が開始する時間と、ピーク時料金が適用される期間を入力してください。また、「Billing Type」(請求種類)ドロップダウンメニューを使って、次のいずれかを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Total(合計):ラックデバイス全体に関するレポートです。</li> <li>➤ Rack(ラック):ラックの小計別に作成されたレポートです。</li> </ul> </li> </ul>
Generate (生成)	パラメーターを入力して、「Generate」(作成)をクリックすると、レポートを一覧に追加します。

## 作成されたレポート

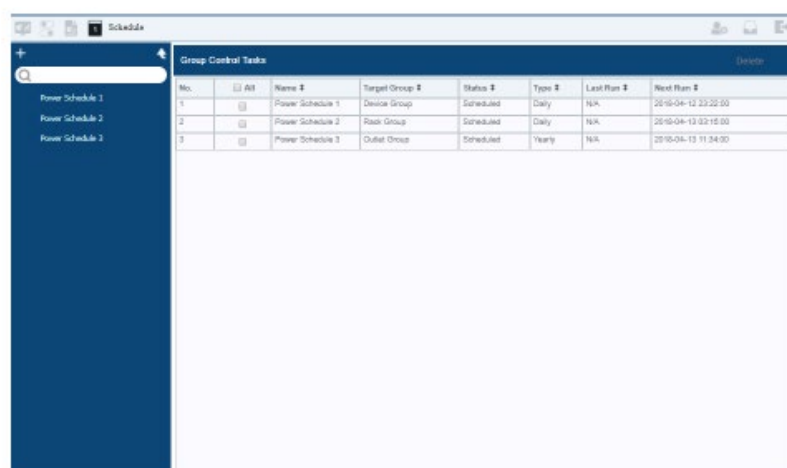
「Completed Report」(作成されたレポート)タブでは、作成済みのレポートを参照することができます。サイドバーでレポートの種類を選択し、参照したいレポートのボックスにチェックを入れてから(複数選択可)、「Open」(開く)をクリックすると、新規ウィンドウでレポートを参照することができます(ブラウザのポップアップブロッカーを解除しておく必要があります)。また、「Save as」(別名で保存)をクリックすると、レポートをPDF または Excel ファイルの形式でエクスポートします。



No.	<input type="checkbox"/>	Title #	Author #	Completed Date & Time #	Runy Size #	Relative Folder #	Details
1	<input type="checkbox"/>	Sys RPT 1	Shit	2018-04-12 09:30:43	2018-05-17 09:39:43	data\Report\152353250301210	
2	<input type="checkbox"/>	ATD4/RPT PPT	Geny	2018-04-19 22:04:52	2018-05-11 22:04:52	data\Report\152344624231890	
3	<input type="checkbox"/>	Sys RPT 1	Shit	2018-04-19 22:04:52	2018-05-11 22:04:52	data\Report\152344624231890	
4	<input type="checkbox"/>	Sys Main RPT	Jorge	2018-04-19 22:02:30	2018-05-11 22:02:30	data\Report\152344624231890	

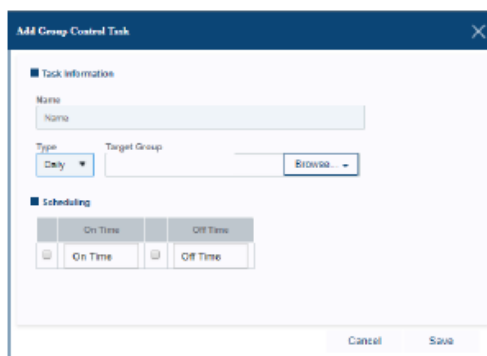
## スケジュール

「Schedule」(スケジュール)画面では、アウトレットの電源 ON や電源 OFF といった操作を定期的に行うよう、グループタスクのスケジュールリングを行うことができます。サイドバーには、スケジュールリングされたタスクの一覧が表示されますので、ここからタスクを選択して、設定変更を行うことができます。



サイドバーで、「+」アイコンをクリックすると、「Group Control Task」(グループ制御タスク)ウィンドウが表示されます。「Type」(種類)を選択すると、各種オプションが表示され、スケジュールの設定を行うことができます。

## 日単位



「Name」(名前)欄にはタスクの名前を入力してください。「Target Group」(対象グループ)では、「Browse」(参照)をクリックして適当なものを選択してください。「On Time」(ON 時間)の項目にチェックを入れた場合は、アウトレットの電源をONにする時間を入力してください。また、これと同様に、「Off Time」(OFF 時間)の項目にチェックを入れた場合は、アウトレットの電源をOFFにする時間を

入力してください。このタスクは毎日実行されます。

## 週単位

	#	On Time	Off Time
Monday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Tuesday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Wednesday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Thursday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Friday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Saturday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Sunday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>

「Name」(名前)欄にはタスクの名前を入力してください。「Target Group」(対象グループ)では、「Browse」(参照)をクリックして適当なものを選択してください。タスクを実行する場合、アウトレットの電源をONにするには、該当する曜日の行にある「On Time」(ON 時間)の項目にチェックを入れて、処理を開始する時間を入力してください。また、これと同様に、アウトレットの電源をOFFにするには、該当する曜日の行にある「Off Time」(OFF 時間)の項目にチェックを入れて、処理を開始する時間を入力してください。このタスクは毎週、選択された曜日の指定された時刻に実行されます。

## 年単位

	#	On Time	Off Time
Monday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Tuesday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Wednesday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Thursday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Friday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Saturday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>
Sunday	<input type="checkbox"/>	On Time	<input type="checkbox"/>

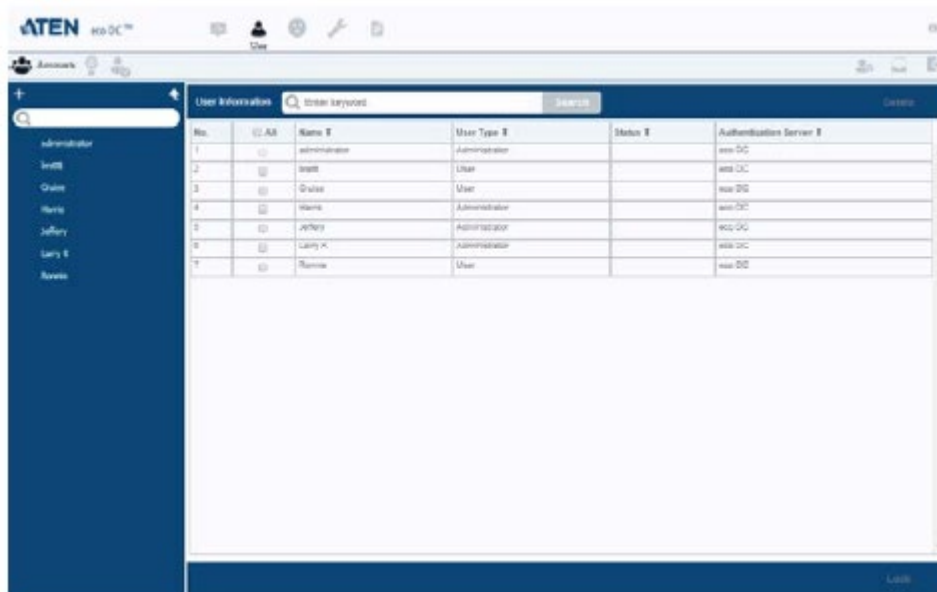
「Name」(名前)欄にはタスクの名前を入力してください。「Target Group」(対象グループ)では、「Browse」(参照)をクリックして適当なものを選択してください。タスクを実行する場合、アウトレットの電源をONにするには、該当する曜日の行にある「On Time」(ON 時間)の項目にチェックを入れて、処理を開始する時間を入力してください。また、これと同様に、アウトレットの電源をOFFにする

には、該当する曜日の行にある「**Off Time**」(OFF 時間)の項目にチェックを入れて、処理を開始する時間を入力してください。「**Exception**」(例外)タブを使うと、スケジュールの変更が必要な日時を追加します。

# 第5章 ユーザー

## 概要

タブバーから「User」(ユーザー)を選択すると、「Accounts」(アカウント)画面が表示されます。eco DC では、2段階のユーザーアカウント(アドミニストレーター、ユーザー)に対応しています。「User」(ユーザー)タブでは、「Accounts」(アカウント)、「Authentication Services」(認証サービス)、「Sessions」(セッション)という3種類のメニューバーを選択することができます。



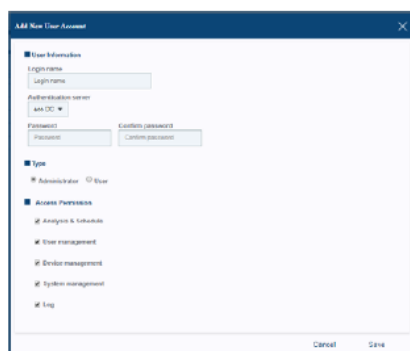
The screenshot shows the ATEN eco DC web interface. The top navigation bar includes the ATEN logo and 'eco DC' text. Below it, there are icons for 'Accounts', 'User', and 'Sessions'. The main content area is titled 'User Information' and features a search bar with the placeholder text 'Enter keyword'. Below the search bar is a table with the following columns: 'No.', 'ID', 'Name', 'User Type', 'Status', and 'Authentication Server'. The table contains 7 rows of user data.

No.	ID	Name	User Type	Status	Authentication Server
1		admin	Administrator		eco DC
2		smith	User		eco DC
3		Chase	User		eco DC
4		Wend	Administrator		eco DC
5		Jeffery	Administrator		eco DC
6		Larry K	Administrator		eco DC
7		Ramon	User		eco DC

## アカウント

アカウントを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「Add New User Account」(新規ユーザーアカウントの追加)画面が表示されます。



2. 「User Information」(ユーザー情報)のセクションで、「Login name」(ログイン名)欄にアカウントのユーザーネームを、「Password」(パスワード)欄にパスワードを、それぞれ入力してください。また、「Authentication Server」(認証サーバー)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適したものを選択してください。この画面は、サイドバーでアカウントを選択されたときに表示される画面と同じです。
3. 「Type」(種類)セクションで、ユーザータイプを選択してください。選択できる種類は、「Administrator」(アドミニストレーター)または「User」(ユーザー)です。

---

**注意:** デフォルトでは、アドミニストレーターにはフルアクセス権が与えられていますが、ユーザーにはアクセス権が与えられていません。ユーザーのレベルに設定されているアカウントがアクセスできるのは「Energy」(エネルギー)タブのみですが、このレベルのユーザーに対してデバイスの電源制御を参照したり実行したりできる権限を割り当てることができます (p.55「デバイス/データグループのアクセス」参照)。

---

4. 「Access Permission」(アクセス操作権限)のセクションで、アドミニストレーターのアカウントの操作権限を設定してください。アカウントに対して、デバイス単位で権限を設定するには、サイドバーから、そのユーザーの画面を開いて、「Device Access」(デバイスアクセス)タブを選択してください。
5. 「Save」(保存)をクリックして、設定内容を保存してください。

## デバイス/データグループのアクセス

サイドバーからユーザーアカウントを選択すると、「Device Access」(デバイスアクセス)と「Data Group Access」(データグループアクセス)の2種類のタブが表示されます。これらの画面を使うと、ユーザーレベルのアカウントに、デバイスやグループの参照や管理を行う権限を与えることができます。デバイスアクセスの追加とデータグループアクセスの追加における相違点は、前者は個々のデバイスを管理するのに対し、後者はデバイスグループを管理するという点だけです。なお、アドミニストレーターはすべての権限にフルアクセスできるため、これらのアカウントには「Access」(アクセス)タブが表示されません。

デバイスまたはグループアクセスを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ユーザーレベルのアカウントをサイドバーから選択したら、「Device Access」(デバイスアクセス)または「Data Group Access」(データグループアクセス)のタブを選択して、「Add」(追加)をクリックしてください。そうすると、「Add Device Access Rights」(デバイスアクセス権限の追加)画面が表示されます。

No.	Device Name	MAC	IP	Model	Path
1	ESCHL_DEV_1	00:13:74:12:01:04	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
2	ESCHL_DEV_2	00:13:74:12:01:05	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
3	ESCHL_DEV_3	00:13:74:12:01:06	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
4	ESCHL_DEV_4	00:13:74:12:01:07	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
5	ESCHL_DEV_5	00:13:74:12:01:08	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
6	ESCHL_DEV_6	00:13:74:12:01:09	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
7	ESCHL_DEV_7	00:13:74:12:01:0A	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
8	ESCHL_DEV_8	00:13:74:12:01:0B	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
9	ESCHL_DEV_9	00:13:74:12:01:0C	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
10	ESCHL_DEV_10	00:13:74:12:01:0D	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
11	ESCHL_DEV_11	00:13:74:12:01:0E	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
12	ESCHL_DEV_12	00:13:74:12:01:0F	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
13	ESCHL_DEV_13	00:13:74:12:01:10	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
14	ESCHL_DEV_14	00:13:74:12:01:11	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
15	ESCHL_DEV_15	00:13:74:12:01:12	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
16	ESCHL_DEV_16	00:13:74:12:01:13	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500
17	ESCHL_DEV_17	00:13:74:12:01:14	127.0.0.1	PE33190	A101N 5th Building A1 Floor 5th Room 505-7500

2. 「All」(すべて)列で、ユーザーにアクセス管理権限を与えたいデバイスまたはデータグループを、チェックボックスで選択してください。ユーザーがログインすると、これらのデバイスがサイドバーに表示されるようになります。

**注意:** デフォルトでは、アドミニストレーターにはフルアクセス権が与えられていますが、ユーザーにはデバイスやグループのアクセス権限が与えられていません。ユーザーのレベルに設定されているアカウントは「Energy」(エネルギー)タブで、状態と電源制御オプションを参照することしかできません。

3. 「Add」(追加)をクリックしてください。操作を終了する場合は「X」をクリックしてください。
4. デバイスを追加すると、「Device Access」(デバイスアクセス)画面に一覧表示されます。

## 認証サービス

「Authentication Services」(認証サービス)のメニューバーオプションを使うと、eco DC におけるパスワードポリシーと外部認証サーバーを設定することができます。デフォルトでは、eco DC 認証サービスはサイドバーに表示されます。また、これは削除することができません。

サイドバーで「eco DC」をクリックすると、下図のような「Password Policy」(パスワードポリシー)画面が表示されます。

項目	説明
Minimum username length(1~64) (最小ユーザーネーム長(1~64))	ユーザーネームの設定に必要な最小文字数を入力してください。
Minimum password length(1~32) (最小パスワード長(1~32))	パスワードを半角英数字で設定するために必要となる最小文字数を入力してください。
Password expires after(1~999) (パスワード有効日数(1~999))	ユーザーに対して新しいパスワードへの変更を求める前に、現在のパスワードを有効にしておく日数を入力してください。
Enforce password history(0~9) (パスワード履歴の記録(0~9))	過去のパスワードを再び使用する前に、固有のパスワードを使用しなければならない回数を入力してください。
Password must contain upper letters (パスワードに大文字を含める)	このチェックボックスにチェックを入れた場合、ユーザーはパスワードに英字の大文字を1文字以上入力しなければなりません。

(表は次のページに続きます)

項目	説明
Password must contain lower letters (パスワードに小文字を含める)	このチェックボックスにチェックを入れた場合、ユーザーはパスワードに英字の小文字を1文字以上入力しなければなりません。
Password must contain numbers (パスワードに数字を含める)	このチェックボックスにチェックを入れた場合、ユーザーはパスワードに半角数字を1文字以上入力しなければなりません。
Password must contain symbols (パスワードに記号を含める)	このチェックボックスにチェックを入れた場合、ユーザーはパスワードに記号(!、@、#、\$、%、^、&、*)を1文字以上入力しなければなりません。

## 外部認証

認証サーバーを追加するには、下記の手順で操作を行ってください。

1. 「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「Add New Authentication Server」(新規認証サーバーの追加)画面が表示されます。

2. 「Basic Information」(基本情報)セクションで、「Server name」(サーバー名)と「Description」(説明)の各欄に入力したら、「Server Type」(サーバーの種類)を選択してください。

### ◆ Active Directory

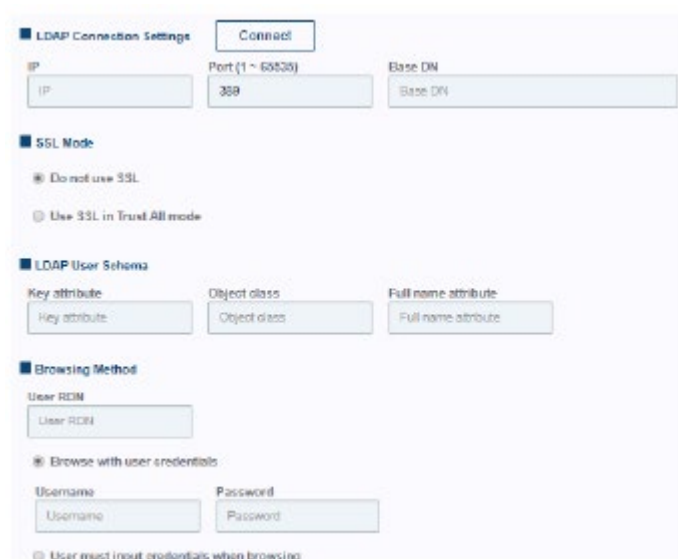
「Active Directory Connection Settings」(Active Directory 接続設定)のセクションでは、「IP address」(IP アドレス)と「Base DN」(ベース DN)の各欄に入力してください。

「SSL Mode」(SSL モード)のセクションでは、「Use SSL in Trust All Mode」(全信頼モード

において SSL を使用する)または「Do not use SSL」(SSL を使用しない)のいずれかを、ラジオボタンで選択してください。

「Browsing Method」(閲覧方法)のセクションでは、「Browse with user credential」(ユーザー証明書で閲覧する)または「User must input credentials when browsing」(ユーザーは閲覧時に証明書の入力が必要)のいずれかを、ラジオボタンで選択してください。前者を選択した場合は、「Username」(ユーザーネーム)と「Password」(パスワード)の各欄に入力してください。

#### ◆ LDAP



The image shows a screenshot of the 'LDAP Connection Settings' configuration page. It includes several sections: 'LDAP Connection Settings' with fields for IP, Port (1-65535), and Base DN; 'SSL Mode' with radio buttons for 'Do not use SSL' and 'Use SSL in Trust All mode'; 'LDAP User Schema' with fields for Key attribute, Object class, and Full name attribute; and 'Browsing Method' with a 'User RDN' field and radio buttons for 'Browse with user credentials' and 'User must input credentials when browsing'. The 'Browse with user credentials' option is selected, and it has associated 'Username' and 'Password' fields.

「LDAP Connection Settings」(LDAP 接続設定)のセクションでは、「IP address」(IP アドレス)、「Port」(ポート)、「Base DN」(ベース DN)の各欄に入力してください。

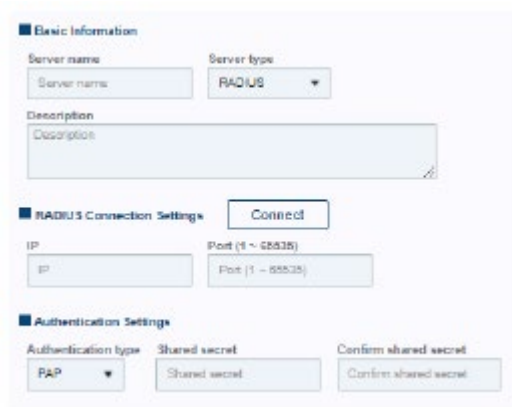
「SSL Mode」(SSL モード)のセクションでは、「Use SSL in Trust All Mode」(全信頼モードにおいて SSL を使用する)または「Do not use SSL」(SSL を使用しない)のいずれかを、ラジオボタンで選択してください。

「LDAP User Schema」(LDAP ユーザースキーマ)のセクションでは、「Key attribute」(キー属性)、「Object class」(オブジェクトクラス)、「Full name attribute」(完全な名前属性)の各欄に入力してください。

「Browsing Method」(閲覧方法)のセクションでは、「User RDN」(ユーザーRDN)欄に入力してください。また、「Browse with user credential」(ユーザー証明書で閲覧する)または「User must input credentials when browsing」(ユーザーは閲覧時に証明書の入力が必要)

必要)のいずれかを、ラジオボタンで選択してください。前者を選択した場合は、「Username」(ユーザーネーム)と「Password」(パスワード)の各欄に入力してください。

#### ◆ RADIUS

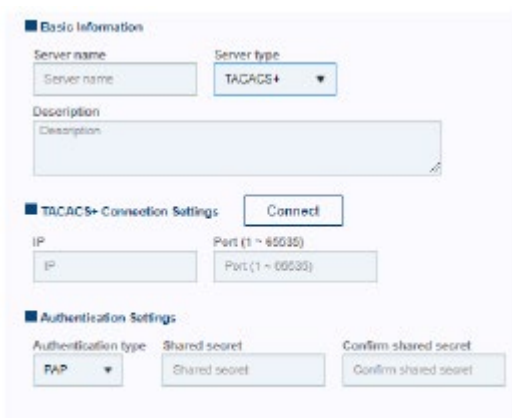


「Basic Information」(基本情報)のセクションでは、「IP address」(IP アドレス)と「Description」(説明)の各欄に入力してください。また、「Server type」(サーバーの種類)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。

「RADIUS Connection Settings」(RADIUS 接続設定)のセクションでは、「IP」と「Port」(ポート)の各欄に入力してください。

「Authentication Settings」(認証設定)のセクションでは、「Authentication type」(認証タイプ)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください、また、「Shared secret」(共有シークレット)と「Confirmed shared secret」(確認用共有シークレット)の各欄に入力してください。

#### ◆ TACACS+



「Basic Information」(基本情報)のセクションでは、「Server name」(サーバーネーム)と

「**Description**」(説明)の各欄に入力してください。また、「**Server type**」(サーバーの種類)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください。

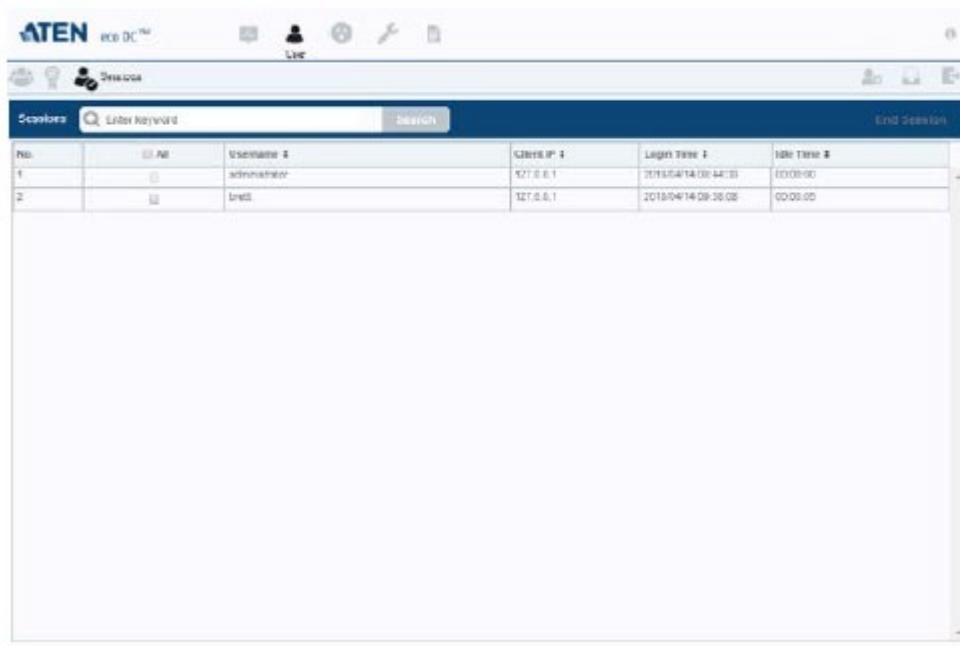
「**TACACS+ Connection Settings**」(TACACS+接続設定)のセクションでは、「**IP**」と「**Port**」(ポート)の各欄に入力してください。

「**Authentication Settings**」(認証設定)のセクションでは、「**Authentication type**」(認証タイプ)のドロップダウンメニューから、お使いの環境に適した値を選択してください、また、「**Shared secret**」(共有シークレット)と「**Confirmed shared secret**」(確認用共有シークレット)の各欄に入力してください。

3. 「**Save**」(保存)をクリックして、設定内容を保存してください。

## セッション

アドミニストレーターは、現在 eco DC にログインしている全ユーザーを「Session」(セッション)画面において一目で確認することができます。また、この画面には、各ユーザーのセッション情報も提供されています。



No.	All	Username #	Client IP #	Login Time #	Idle Time #
1	<input type="checkbox"/>	adminuser	127.0.0.1	2018/04/14 09:44:00	00:00:00
2	<input type="checkbox"/>	lms	127.0.0.1	2018/04/14 09:38:00	00:00:00

- 
- 注意:**
1. ユーザーレベルのアカウントでログインした場合は、この画面を利用することができません。
  2. 一覧表の見出しをクリックすると、その項目順に一覧を並べ替えて表示することができます。
- 

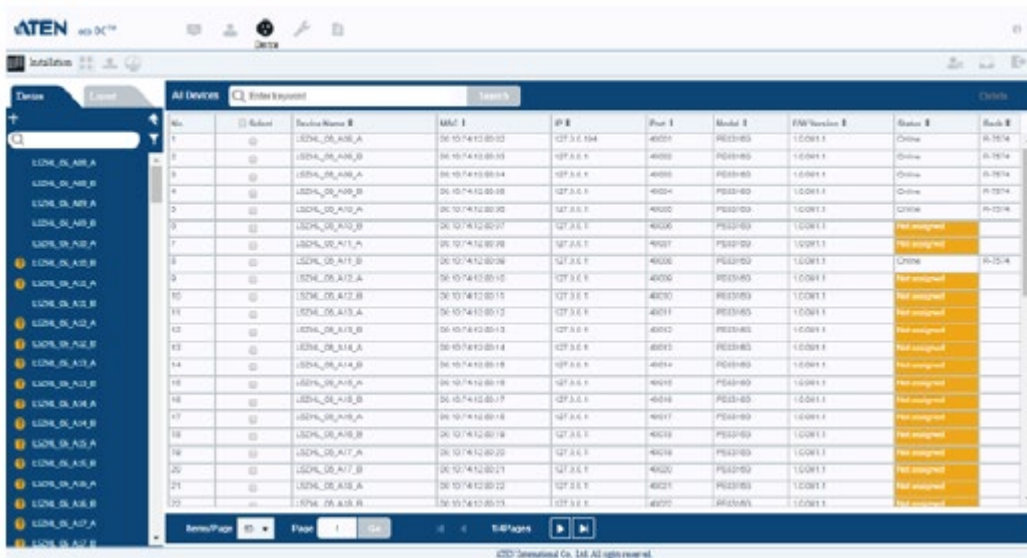
一覧のタイトルは文字通りの意味を表します。「Client IP」(クライアント IP)列にはログインユーザーの IP アドレスが、また、「Login Time」(ログイン時間)列にはユーザーがログインした時間が、そして、「Idle」(アイドル)列にはアカウントの非アクティブ状態がどれくらい継続しているかが、それぞれ表示されます。

アドミニストレーターは、この画面で選択したユーザーを強制的にログアウトさせることもできます。対象となるユーザーを選択し、メインパネル右上にある「セッションの強制終了」アイコン(🛑)をクリックしてください。

# 第6章 デバイス

## 概要

「Device」(デバイス)タブでは、各デバイスの設定を行い、データセンター、建物、フロア、部屋、ラックを使ってデータセンターを定義することができます。また、デバイスのしきい値設定のような詳細なパラメーターをPDUレベルおよびアウトレットレベルで定義したり、eco Sensor の設定を行ったりすることもできます。詳細は、下記のセクションを参照してください。



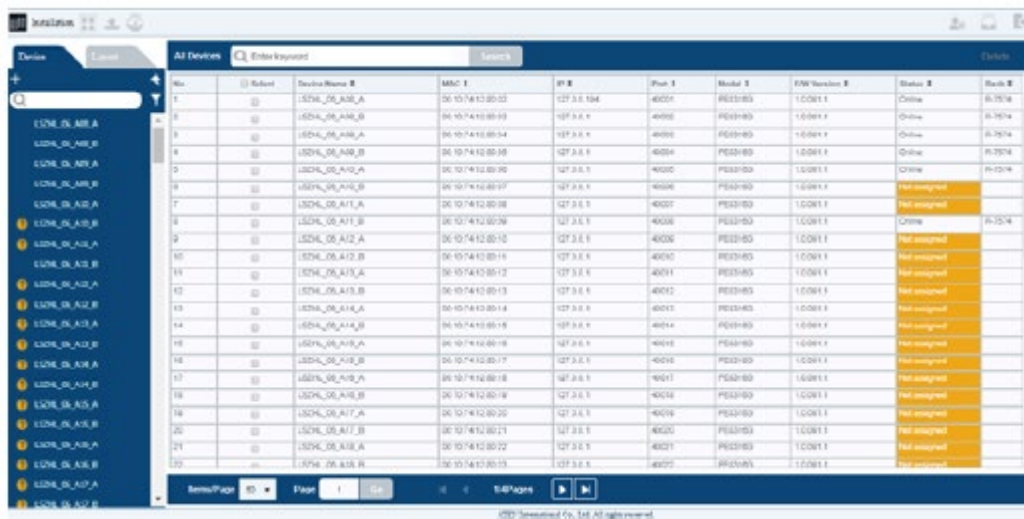
The screenshot shows the ATEN eco DC web interface. The main content is a table titled "All Devices" with columns: No., Status, Device Name, MAC, IP, Port, Model, FW Version, Status, and Rack. The table lists 22 devices, with some marked as "Not assigned" and others as "Online".

No.	Status	Device Name	MAC	IP	Port	Model	FW Version	Status	Rack
1	Online	LD24_06_A06_A	98:10:74:02:00:02	127.0.0.194	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
2	Online	LD24_06_A06_B	98:10:74:02:00:03	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
3	Online	LD24_06_A06_A	98:10:74:02:00:04	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
4	Online	LD24_06_A06_B	98:10:74:02:00:05	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
5	Online	LD24_06_A10_A	98:10:74:02:00:06	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
6	Online	LD24_06_A10_B	98:10:74:02:00:07	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
7	Not assigned	LD24_06_A11_A	98:10:74:02:00:08	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
8	Online	LD24_06_A11_B	98:10:74:02:00:09	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Online	6-10/4
9	Not assigned	LD24_06_A12_A	98:10:74:02:00:10	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
10	Not assigned	LD24_06_A12_B	98:10:74:02:00:11	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
11	Not assigned	LD24_06_A13_A	98:10:74:02:00:12	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
12	Not assigned	LD24_06_A13_B	98:10:74:02:00:13	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
13	Not assigned	LD24_06_A14_A	98:10:74:02:00:14	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
14	Not assigned	LD24_06_A14_B	98:10:74:02:00:15	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
15	Not assigned	LD24_06_A15_A	98:10:74:02:00:16	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
16	Not assigned	LD24_06_A15_B	98:10:74:02:00:17	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
17	Not assigned	LD24_06_A16_A	98:10:74:02:00:18	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
18	Not assigned	LD24_06_A16_B	98:10:74:02:00:19	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
19	Not assigned	LD24_06_A17_A	98:10:74:02:00:20	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
20	Not assigned	LD24_06_A17_B	98:10:74:02:00:21	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
21	Not assigned	LD24_06_A18_A	98:10:74:02:00:22	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	
22	Not assigned	LD24_06_A18_B	98:10:74:02:00:23	127.0.0.9	4000	PE03-05	1.0001.1	Not assigned	

- 注意:
1. eco DC が動作するようにするには、1 基以上のラックについてセットアップと定義を行う必要があります。
  2. 全機種がすべての機能に対応しているわけではありません(例:アウトレットレベルでの監視)。詳細は、p.9「対応 ATEN デバイス」および eco PDU のユーザーマニュアルを参照してください。

## セットアップ

「Installation」(セットアップ)メニューバーのオプションを使うと、デバイスの参照や設定、およびデータセンターのレイアウト定義を行うことができます。この画面を開くとサイドバーに「Device」(デバイス)タブが表示され、お使いのデータセンターにおける全デバイスが、ここに列挙されます。

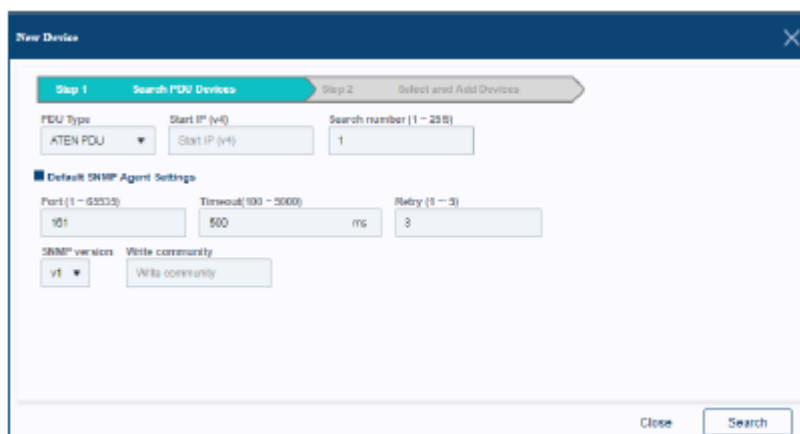


ID	Subnet	Device Name	MAC	IP	Port	Model	FW Version	Status	Rack
1	1024_06_A00_A	1024_06_A00_A	00:10:74:12:00:03	127.0.0.104	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
2	1024_06_A00_B	1024_06_A00_B	00:10:74:12:00:04	127.0.0.105	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
3	1024_06_A00_A	1024_06_A00_A	00:10:74:12:00:05	127.0.0.106	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
4	1024_06_A00_B	1024_06_A00_B	00:10:74:12:00:06	127.0.0.107	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
5	1024_06_A10_A	1024_06_A10_A	00:10:74:12:00:07	127.0.0.108	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
6	1024_06_A10_B	1024_06_A10_B	00:10:74:12:00:08	127.0.0.109	4000	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
7	1024_06_A11_A	1024_06_A11_A	00:10:74:12:00:09	127.0.0.110	4000	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
8	1024_06_A11_B	1024_06_A11_B	00:10:74:12:00:0A	127.0.0.111	4000	PE03-05	1.0.0.1	Online	0-75/4
9	1024_06_A12_A	1024_06_A12_A	00:10:74:12:00:0B	127.0.0.112	4000	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
10	1024_06_A12_B	1024_06_A12_B	00:10:74:12:00:0C	127.0.0.113	4000	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
11	1024_06_A13_A	1024_06_A13_A	00:10:74:12:00:0D	127.0.0.114	4001	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
12	1024_06_A13_B	1024_06_A13_B	00:10:74:12:00:0E	127.0.0.115	4002	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
13	1024_06_A14_A	1024_06_A14_A	00:10:74:12:00:0F	127.0.0.116	4003	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
14	1024_06_A14_B	1024_06_A14_B	00:10:74:12:00:10	127.0.0.117	4004	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
15	1024_06_A15_A	1024_06_A15_A	00:10:74:12:00:11	127.0.0.118	4005	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
16	1024_06_A15_B	1024_06_A15_B	00:10:74:12:00:12	127.0.0.119	4006	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
17	1024_06_A16_A	1024_06_A16_A	00:10:74:12:00:13	127.0.0.120	4007	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
18	1024_06_A16_B	1024_06_A16_B	00:10:74:12:00:14	127.0.0.121	4008	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
19	1024_06_A17_A	1024_06_A17_A	00:10:74:12:00:15	127.0.0.122	4009	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
20	1024_06_A17_B	1024_06_A17_B	00:10:74:12:00:16	127.0.0.123	4010	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
21	1024_06_A18_A	1024_06_A18_A	00:10:74:12:00:17	127.0.0.124	4011	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	
22	1024_06_A18_B	1024_06_A18_B	00:10:74:12:00:18	127.0.0.125	4012	PE03-05	1.0.0.1	Not assigned	

## デバイスの追加

デバイスを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. サイドバーで「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「New Device」(新規デバイス)画面が表示され、ネットワーク上のデバイスの条件を入力して検索を行うことができます。



New Device

Step 1 Search PDU Devices Step 2 Select and Add Devices

PDU Type: ATEN PDU Start IP (v4): Start IP (v4) Search number (1 - 25): 1

Default SNMP Agent Settings

Port (1 - 65535): 161 Timeout (100 - 5000): 500 Retry (1 - 3): 3

SNMP version: v1 Write community: Write community

Close Search

2. 「Search PDU Devices」(PDU デバイスの検索)セクションで、「PDU Type」(PDU の種類)をドロップダウンメニューから選択してください。また、「Start IP (v4)」(開始 IP(v4))と「Search Number」(検索番号)の各欄に入力してください。
3. 「Default SNMP Agent Settings」(デフォルト SNMP エージェントの設定)セクションで、必要な情報(ポート、タイムアウト、再試行、SNMP バージョン、Write コミュニティ)を入力したら、「Search」(検索)ボタンをクリックしてください。
4. デバイス一覧が表示されたら、追加の対象となるデバイスのチェックボックスにチェックを入れて、「Add」(追加)ボタンをクリックしてください。

## デバイス

「Devices」(デバイス)タブには、お使いのデータセンターにおける全 PDU が一覧表示されます。デバイスを選択するには、対象となるデバイスをサイドバーから選択するか、メインパネルでそのデバイスをダブルクリックしてください。デバイスが選択されると、最初のタブが表示されます。

## デバイス

The screenshot displays the configuration page for a device. It includes several sections:
 

- Device Info:** Fields for Name (LEDN\_06\_A01\_1), IP (107.0.0.104), Model (PDU1401), and Rack (R.1071).
- SNMP Agent Settings:** Fields for Port (42001), Timeout (100), Retries (3), Version (v1), and Write community (admin@192.168.0.1).
- Threshold Settings:** A table with columns for units and values for Aggregate current (A), Voltage (V), Aggregate power (W), and Aggregate power dissipation (W).
- Sensor Location Type:** Dropdown menus for Sensor 1 (INlets), Sensor 2 (INlets), Sensor 3 (Outputs), and Sensor 4 (Fans).
- Clear Sensor Type:** A dropdown menu for Device sensor 1 (Industrial Precision (EA1441)).

 At the bottom right, there are 'Discard' and 'Apply' buttons.

項目	説明
Device Info (デバイス情報)	このセクションには、設定を行うデバイスの名前、IP モデルおよびラックに関する情報が表示されます。

(表は次のページに続きます)

項目	説明
SNMP Agent Settings (SNMP エージェント設定)	SNMP エージェントはここで設定します。
Threshold (しきい値)	<p>下記のパラメーターを使用して、デバイスのしきい値(最小～最大)を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Aggregate Current (総電流)</li> <li>◆ Voltage (電圧)</li> <li>◆ Aggregate Power (総電力)</li> <li>◆ Aggregate Power Dissipation (総消費電力)</li> </ul> <p><b>注意:</b>これらの設定を表示するには、「<b>Advanced Settings</b>」(詳細設定)のラジオボタンをクリックしてください。</p>
Sensor Location Type (センサー位置の種類)	ドロップダウンメニューからセンサーの位置を選択してください。
Door Sensor Type (ドアセンサーの種類)	ドロップダウンメニューからドアセンサーの種類を選択してください。
Apply (適用)	この部分をクリックすると、設定内容を保存します。

## バンク

The screenshot shows a configuration window with two main sections:

- Device Info:** Contains four input fields: Name (LS216\_08\_A08\_A), IP (127.0.0.194), Model (P00298G), and Rack (103576).
- Threshold Settings:** Includes a checkbox for "Apply to all Banks" and a "Banks" dropdown menu set to "Bank 1". Below this are four rows of settings, each with a label, a unit, a value, another unit, and a range:
  - Current (min-max): [ ] A - 17.0 A (0.0 ~ 98.0)
  - Voltage (min-max): 210.1 V - 220.0 V (0.0 ~ 250.0)
  - Power (min-max): [ ] W - 0000.0 W (0.0 ~ 9999.0)
  - Power dissipation (min-max): [ ] kWh - 00000.0 kWh (0.0 ~ 99999.0)

At the bottom right, there are "Discard" and "Apply" buttons.

項目	説明
Device Info (デバイス情報)	このセクションには、デバイスの名前、IP、モデルおよびラックに関する情報が表示されます。
Threshold (しきい値)	<p>バンクの名前を「Bank name」(名前)欄に入力し、「Banks」(バンク)ドロップダウンメニューを使って複数のバンクを個別に設定してください。あるいは、「Apply to all Banks」(すべてのバンクに適用)の項目にチェックを入れると、全バンクに対して同一の内容で設定を行います。下記のパラメーターを使用して、バンクのしきい値(最小～最大)を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Current (電流)</li> <li>◆ Voltage (電圧)</li> <li>◆ Power (電力)</li> <li>◆ Power Dissipation (消費電力)</li> </ul> <p><b>注意:</b> お使いのデバイスによっては、これらのオプションすべてが利用できる訳ではありません。</p>
Apply (適用)	この部分をクリックすると、設定内容を保存します。

## アウトレット

The screenshot shows a configuration page for a device. The 'Device Info' section includes fields for Name (L5216\_03\_A08\_A), IP (127.0.0.194), Model (PE33193), and Rack (R-7374). The 'Threshold Settings' section has an 'Apply to all Outlets' checkbox and a dropdown for 'Outlets' (set to 'Outlet 1'). Below this are four rows of input fields for 'min' and 'max' values for Current (A), Voltage (V), Power (W), and Power dissipation (kWh). The 'Outlet Configuration' section includes a 'Shutdown method' dropdown (set to 'Kill the Power'), a 'MAC' field (000000000000), and 'Delay ON (s)' and 'Delay OFF (s)' fields (both set to 0). 'Discard' and 'Apply' buttons are at the bottom right.

項目	説明
Device Info (デバイス情報)	このセクションには、デバイスの名前、IP、モデルおよびラックに関する情報が表示されます。
Threshold (しきい値)	<p>「Outlets」(アウトレット)ドロップダウンメニューを使って設定するアウトレットを選択するか、すべてのアウトレットに対して同一の設定を定義し、「Apply」(適用)で適用してください。下記のパラメーターを使用して、アウトレットのしきい値(最小～最大)を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Aggregate Current (総電流)</li> <li>◆ Voltage (電圧)</li> <li>◆ Aggregate Power (総電力)</li> <li>◆ Aggregate Power Dissipation (総消費電力)</li> <li>◆ 「Shutdown method」(シャットダウン方法)ドロップダウンメニューにある3種類の値から、お使いの環境に適した値を1つ選択してください。詳細については、p.69「シャットダウン方法」を参照してください。</li> <li>◆ 選択した方法に対して、「MAC」(MAC アドレス)、「Delay ON(s)」(遅延 ON(秒))、「Delay OFF(s)」(遅延 OFF(秒))の各項目を設定してください。</li> </ul>
Apply (適用)	この部分をクリックすると、設定内容を保存します。

## シャットダウン方法

シャットダウンを行うには、3通りの方法があります。詳細は下記のとおりです。

- ◆ **Kill the Power** - このオプションが選択されている場合、デバイスは「Delay OFF(s) (遅延 OFF(秒))」の欄で設定した時間の間待機してから、アウトレットの電源を OFF にします。電源を OFF にするには、コールド(非セーフ)シャットダウンを実行します。
- ◆ **Wake on LAN** - これはセーフシャットダウン・電源再投入のオプションです。これが選択されている場合、アウトレットの電源が OFF になると、デバイスはまず、コンピューターにシャットダウンの準備をするようにメッセージを送信します。それから、「Delay OFF(s) (遅延 OFF(秒))」の欄で設定した時間の間待機して、コンピューターの電源が落ちてスタンバイモードになる前に、OS が終了できるようにする時間を与えます。  
同様に、アウトレットの電源が ON になった場合、は「Delay ON(s) (遅延 ON(秒))」の欄で設定した時間の間待機して、アウトレットに接続されたコンピューターに、電源を ON にするように伝えるイーサネットメッセージを送信します。

---

**注意:** セーフシャットダウン・電源再投入を行うには、コンピューターに Windows(Windows 98 以降) が搭載されており、セーフシャットダウンプログラム(弊社 Web サイトからダウンロード可) がコンピューターにインストールされていなければなりません。また、コンピューターが Wake on LAN による起動をサポートしている必要があります。

---

- ◆ **System after AC Back** - これはセーフシャットダウン・電源再投入のオプションです。これが選択されている場合、アウトレットの電源が OFF になると、デバイスはまず、コンピューターにシャットダウンの準備をするようにメッセージを送ります。それから「Delay OFF(s) (遅延 OFF(秒))」の欄で設定した時間の間待機して、コンピューターの電源が落ちる前に OS が終了できるための時間を与えます。  
アウトレットに電源が入った場合、デバイスは「Delay ON(s) (遅延 ON(秒))」の欄で設定した時間の間待機してから、サーバーに電源を送ります。サーバーは電源を受け取ると、起動します。

---

**注意:** セーフシャットダウン・再投入を行うには、コンピューターに Windows(Windows 98 以降) が搭載されており、セーフシャットダウンプログラム(弊社 Web サイトからダウンロード可) がコンピューターにインストールされていなければなりません。また、コンピューターが System after AC Back (Wake on Power)による起動をサポートしている必要があります。

---

## センサー

**Device Info**

Name: LS216\_08\_A08\_A    IP: 127.0.0.104    Model: PDC0160    Rack: R-7574

**Threshold Settings**  Apply to same Model

**Sensor 1**

Temperature (min - max): -10.0 °C - 50.0 °C (-20.0 ~ 60.0)

Humidity (min - max): 10.1 % - 94.0 % (10.0 ~ 95.0)

Pressure (min - max): -240.0 Pa - 240.0 Pa (-250.0 ~ 250.0)

**Sensor 2**

Temperature (min - max): -10.0 °C - 50.0 °C (-20.0 ~ 60.0)

Humidity (min - max): 10.1 % - 94.0 % (10.0 ~ 95.0)

Pressure (min - max): -240.0 Pa - 240.0 Pa (-250.0 ~ 250.0)

**Sensor 3**

Temperature (min - max): -10.0 °C - 50.0 °C (-20.0 ~ 60.0)

Humidity (min - max): 10.1 % - 94.0 % (10.0 ~ 95.0)

Pressure (min - max): -240.0 Pa - 240.0 Pa (-250.0 ~ 250.0)

**Sensor 4**

Temperature (min - max): -10.0 °C - 50.0 °C (-20.0 ~ 60.0)

Humidity (min - max): 10.1 % - 94.0 % (10.0 ~ 95.0)

Pressure (min - max): -240.0 Pa - 240.0 Pa (-250.0 ~ 250.0)

Discard    Apply

項目	説明
Device Info (デバイス情報)	このセクションには、デバイスの名前、IP、モデルおよびラックに関する情報が表示されます。
Threshold Settings (しきい値設定)	このセクションでは、センサー1～4 に対するしきい値の設定を行います。設定しようとしている PDU と同一のモデルに、同じ設定を適用したい場合は、「Apply to same Model」(同一モデルに適用)の項目にチェックを入れてください。下記のパラメーターを使用して、センサーのしきい値(最小～最大)を設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ Temperature(温度)</li> <li>◆ Humidity(湿度)</li> <li>◆ Pressure(気圧)</li> </ul>
Apply (適用)	この部分をクリックすると、設定内容を保存します。

## POP

このタブは、お使いになる ATEN PDU モデルによって表示または非表示になり、表示されるオプションも異なります。利用可能なオプションに関する詳細は、お使いになっている ATEN PDU のユーザーマニュアルにて、ご確認ください。

The screenshot displays the configuration interface for an ATEN PDU. It is divided into two main sections:

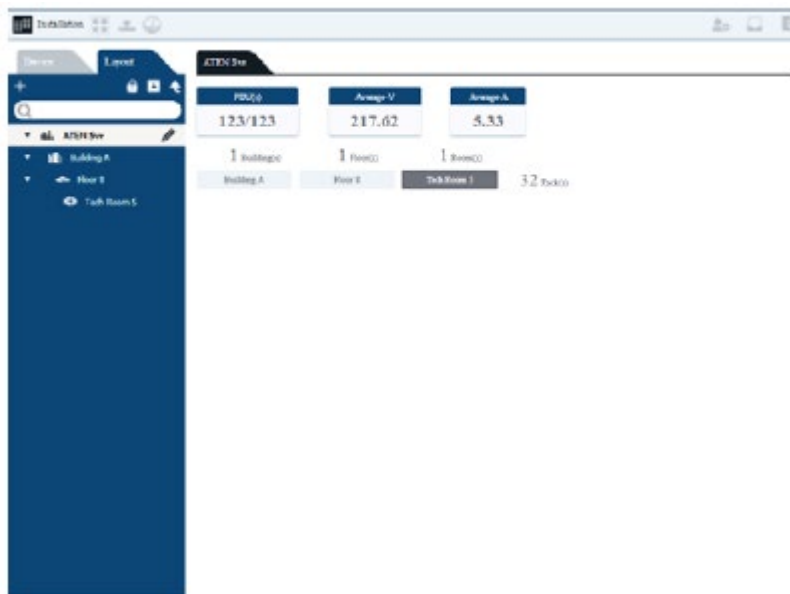
- Device Info:** This section contains four input fields for device details: Name (00\_FES105A\_CAQA\_3-2), IP (10.0.90.192), Model (PE6105A), and Rack (VDC\_R102\_A07).
- POP (Proactive Overload Protection) Settings:** This section includes three checked checkboxes: "Enable Outlet POP", "Enable Bank POP LIFO Mode", and "Enable Bank POP Priority Mode". Below these is a "Bank POP Priority List" table for Bank 1.

Priority	Outlet
1	Outlet-1
2	Outlet-2
3	Outlet-3
4	Outlet-4
5	Outlet-5
6	Outlet-6
7	Outlet-7
8	Outlet-8

項目	説明
Device Info (デバイス情報)	このセクションには、デバイスの名前、IP、モデルおよびラックに関する情報が表示されます。
POP (Proactive Overload Protection) Settings (POP (自動負荷防御機能) 設定)	このセクションでは、アウトレットに対する自動負荷防御機能の設定を行います。この機能を使用する場合は「Enable POP modes」(POP モードを有効にする)の項目にチェックを入れてください。POP 機能の概要と設定方法に関する詳細は、お使いになっている ATEN PDU のユーザーマニュアルにて、ご確認ください。
Apply (適用)	この部分をクリックすると、設定内容を保存します。

## レイアウト

「Layout」(レイアウト)タブでは、お使いのデータセンターのレイアウトを定義します。サイドバーには、データセンターおよび、そこにある建物、フロア、部屋がそれぞれツリービューの一覧で表示されます。



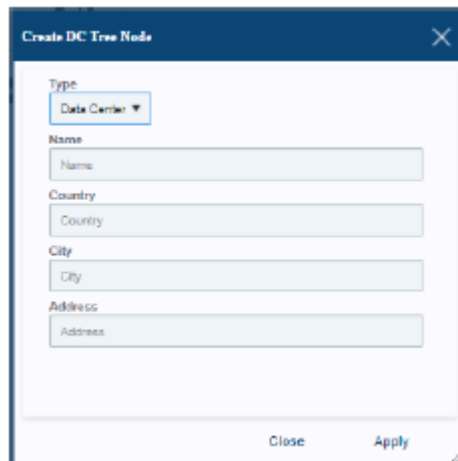
各レベルのレイアウトでは、そのレベルのデータセンターに関するエネルギーと基本情報が表示されます。この情報には、PDU 数、平均電圧、平均総電流に加え、建物、フロア、部屋、およびラックの数が含まれます。

## レイアウトの追加

レイアウトを追加するには、**データセンター→建物→フロア→部屋**の順番で追加をおこなってください。データセンターには、複数の建物、フロア、部屋を追加することができ、データセンターも複数定義することが可能です。部屋レベルでは、PDU がセットアップされたラックを設定することができます。

レイアウトを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. サイドバーで「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「Create DC Tree Node」(DC ツリーノードの作成)画面が表示されます。



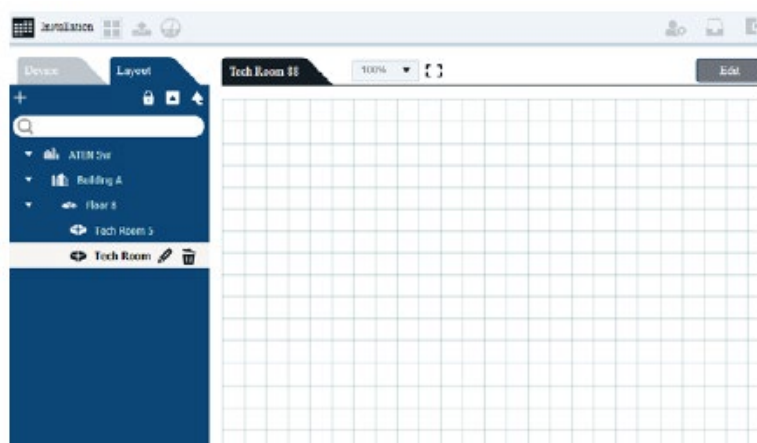
2. 「Type」(種類)ドロップダウンメニューで、「**Data Center**」(データセンター)を選択してください。そうしたら、お使いの環境に合わせて、「Name」(名前)、「Country」(国)、「City」(市区町村)、「Address」(住所)の各欄に入力して「**Apply**」(適用)をクリックしてください。
3. サイドバーで「Data Center」(データセンター)を選択し、「+」をクリックしてください。そうしたら、「Type」(種類)ドロップダウンメニューで「**Building**」(建物)を選択し、その建物に合わせて「Name」(名前)、「Country」(国)、「City」(市区町村)、「Address」(住所)の各欄に入力したら、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。
4. サイドバーで「Building」(建物)を選択し、「+」をクリックしてください。そうしたら、「Type」(種類)ドロップダウンメニューで「**Floor**」(フロア)を選択し、そのフロアに合わせて「Name」(名前)、「Country」(国)、「City」(市区町村)、「Address」(住所)の各欄に入力したら、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。

5. サイドバーで「Floor」(フロア)を選択し、「+」をクリックしてください。そうしたら、「Type」(種類)ドロップダウンメニューで「Room」(部屋)を選択し、その部屋に合わせて「Name」(名前)、「Country」(国)、「City」(市区町村)、「Address」(住所)の各欄に入力したら、「Apply」(適用)をクリックしてください。
  
6. 建物、フロア、部屋は、それぞれ各レベルで追加することができます。部屋が一旦追加されると、これらの部屋を選択し、お使いのデータセンターに対してラックを追加することができます。

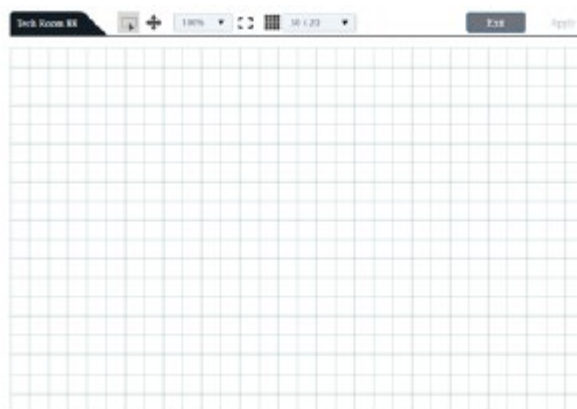
## ラックの追加

部屋に対してラックを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. サイドバーで部屋を選択してください。そうすると、下図のようなグリッドが表示されます。



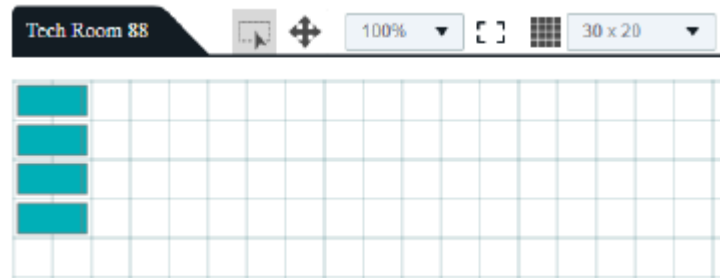
2. 「Edit」(編集)をクリックしてください。そうすると、部屋に対してラックが追加できる画面が表示されます。バーオプションを使って、レイアウトのグリッドサイズを選択、ズーム表示(拡大縮小)、フレームアングルの移動(パン)、自動調整、および設定を行ってください。



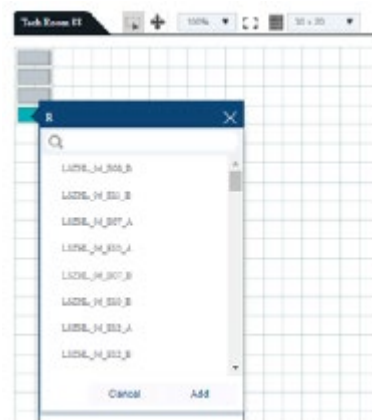
3. グリッドの1マスを右クリックして、ラック位置を選択してください。



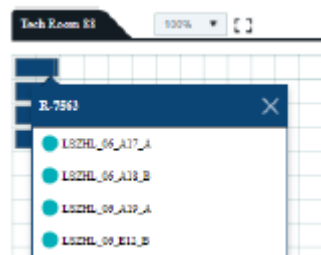
4. 追加するラック数を入力して、「**Apply**」(適用)をクリックしてください。そうすると、先ほど選択した位置にラックが表示されます。ラックは、ドラッグ&ドロップ、削除、コピー、ペーストの各操作が可能です。お使いのデータセンターの設計に合わせて、ラックを必要なだけ追加してください。



5. デバイスを追加するには、ラックをダブルクリックして「+」をクリックしてください。

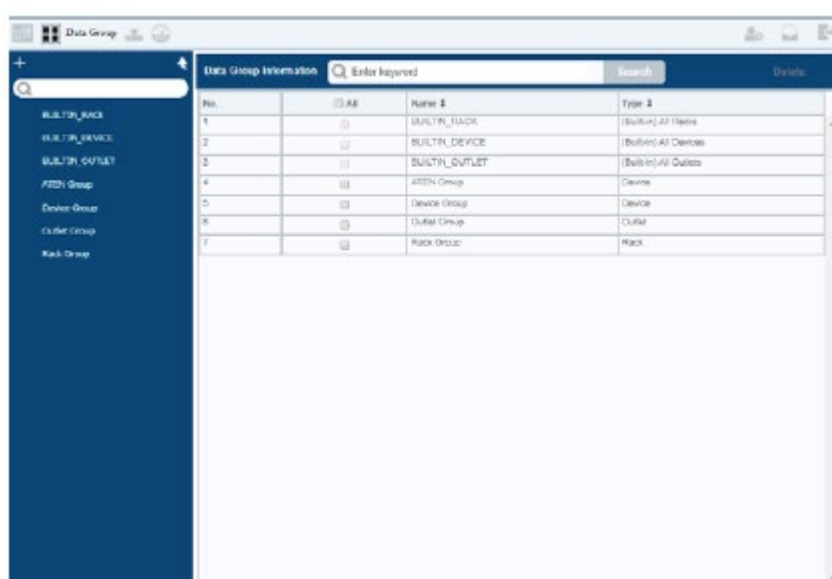


6. デバイスを選択して、「**Add**」(追加)をクリックしてください(複数選択可)。
7. 各ラックに対して、すべてのデバイスを追加したら、「**Exit**」(終了)をクリックしてください。
8. 部屋の画面でラックをクリックすると、デバイスの一覧を参照することができます。デバイスのないラックはグレーで表示されます。



## データグループ

「Data Group」(データグループ)のメニューバーオプションでは、電源管理操作を行うラック、デバイス、またはアウトレットのグループを作成することができます。メインパネルおよびサイドバーには、作成済みのグループが一覧表示されます、最初の 3 つのグループ (BUILTIN\_RACK、BUILTIN\_DEVIC、BUILTIN\_OUTLET)には、そのグループにおける全ユニットが含まれ、削除することはできません。



グループを定義するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. サイドバーで「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「Add Data Group」(データグループの追加)画面が表示されます。

Group name  
Group name

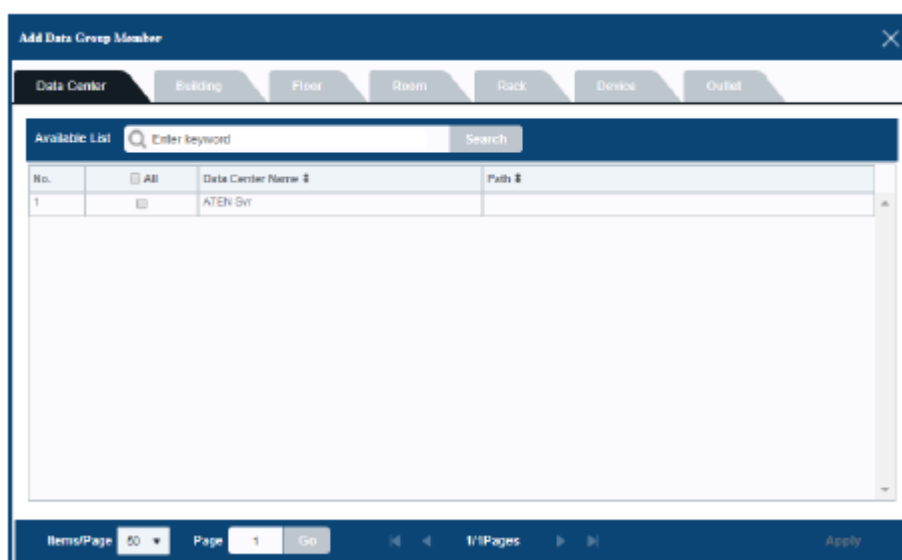
Group unit  
Rack

Cancel Save

2. グループ名を「Group Name」(グループ名)欄に入力してください。また、「Group unit」(グルー

プの単位)ドロップダウンメニューから、「Rack」(ラック)、「Device」(デバイス)、「Outlet」(アウトレット)のいずれかの値を選択してください。

3. 「Save」(保存)をクリックしてください。
4. サイドバーにグループが表示され、ここからラック、デバイス、アウトレットを追加できる画面に遷移することができます。
5. 「Add」(追加)をクリックしてください。そうすると、「Add Data Group Member」(グループメンバーの追加)画面が表示されます。



6. グループに追加するラック、デバイス、アウトレットを、各タブから探してください。表示されるタブは、選択したグループユニットの種類によって変わります。
7. 「Apply」(適用)をクリックしてください。

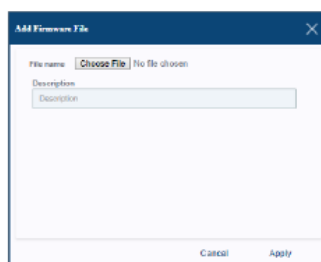
## ファームウェアのアップグレード

---

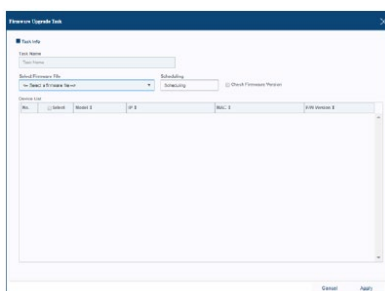
「Firmware Upgrade」(ファームウェアアップグレード)のメニューバーオプションを使うと、ファームウェアアップグレードファイルを追加し、適切なデバイスに対してアップグレードを適用するタスクを追加することができます。

ファームウェアファイルを追加し、更新タスクをスケジューリングするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. メインバーで「**Add**」(追加)をクリックしてください。そうすると、下図のような「Add Firmware File」(ファームウェアファイルの追加)画面が表示されます。



2. 補足説明を「Description」(説明)欄に入力したら、「**Choose File**」(ファイルの選択)をクリックし、ファイルの参照ダイアログからファームウェアアップグレードファイルを選択してください。
3. 「**Apply**」(適用)をクリックしてください。
4. サイドバーで「Upgrade Tasks」(タスクのアップグレード)を選択して、「**Add Task**」(タスクの追加)をクリックしてください。そうすると、下図のような「Firmware Upgrade Task」(ファームウェアアップグレードのタスク)画面が表示されます。



5. タスク名を「Task Name」(タスク名)欄に入力したら、「Firmware File」(ファームウェアファイル)ドロップダウンメニューから適切な値を選択し、タスクを実行する日時を「Scheduling」(スケジューリング)欄で選択してください。ファームウェアアップグレードのタスクは、「Upgrade Task」(タスクのアップグレード)から選択し、「Run Now」(今すぐ実行)をクリックすることでも実行可能です。
6. アップグレードの実行前にバージョン確認を行う場合は、「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する)の項目にチェックを入れてください。この項目にチェックが入っていると、デバイスにインストールされているファームウェアが、インストールしようとしているバージョンよりも新しい場合、ファームウェアはインストールされません。
7. 「Apply」(適用)をクリックしてください。

## 電力メーター

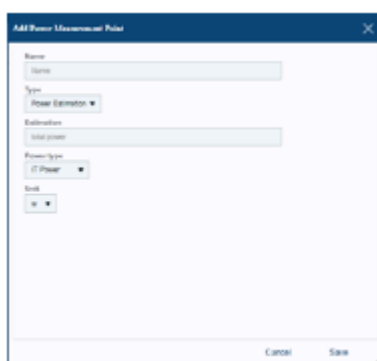
「Power Meter」(電力メーター)のメニューバーオプションを使うと、電力測定ポイントを作成することができます。電力測定ポイントとは、非 IT 設備のエネルギーのデータを、ATEN PDU から取得されたデータセンターの IT 電力データと比較するものです。この情報は、PUE の算出に使用されます。非 IT 設備のエネルギーデータは、サードパーティーの電力メーター (<https://IP:Port/PowerMeter.json?>)、または単純な電力試算から取得することができます。



No.	Name	Type	Method/Estimation	Power Type	Unit
1	Power Measurement Point 1	Power Estimation	WU	Non-IT Power	WU
2	Power Measurement Point 2	Power Meter	http://www.aten.com	IT Power	WU

電力測定ポイントを作成するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. サイドバーで「+」をクリックしてください。そうすると、下図のような「Add Power Measurement Point」(電力測定ポイントの追加)画面が表示されます。



The dialog box contains the following fields and controls:

- Name:
- Type:
- Estimation:
- Power Type:
- Unit:
- Buttons: Cancel, Save

2. 「Name」(名前)、「Estimation」(試算)の各欄に、適切な値を入力してください。また、「Type」(種類)、「Power Type」(電力の種類)、「Unit」(単位)の各ドロップダウンメニューから、適切な値を選択してください。
3. 「Save」(保存)をクリックしてください。

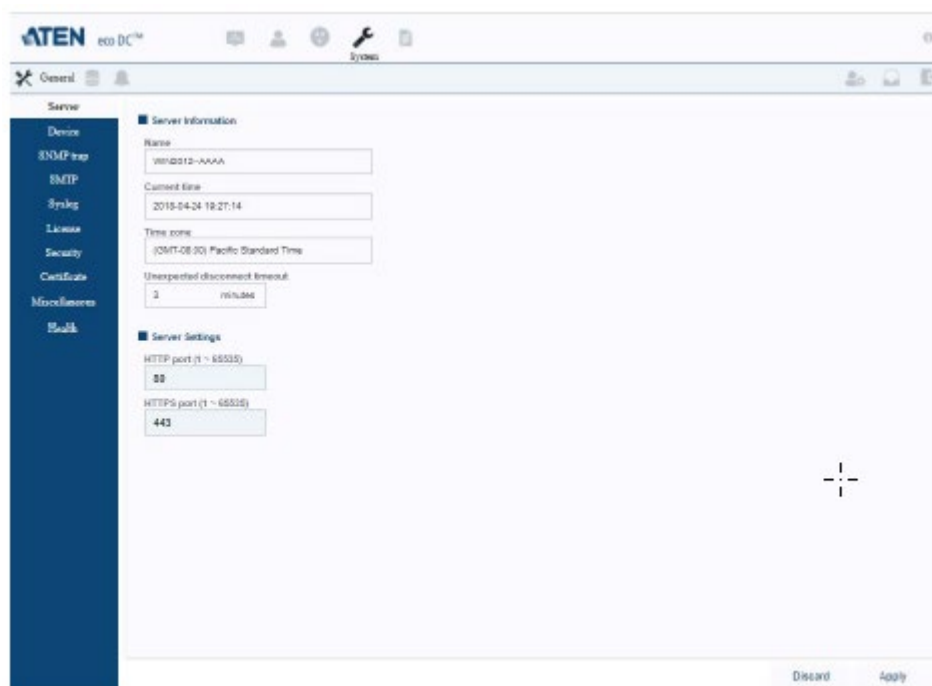
# 第7章 システム

## 概要

「System」(システム)タブでは、eco DC ソフトウェアに対して、システム、データベース、およびイベントの設定を行うことができます。

## 全般

「General」(全般)メニューバーを選択すると、各種システムパラメーターを設定することができます。



## サーバー

ここでは、基本的な eco DC サーバー設定の参照と定義を行うことができます。

- ◆ 「Server Information」(サーバー情報)のセクションには、名前、現在時刻、タイムゾーンの情報が表示されます。
- ◆ 「Unexpected disconnect timeout」(予期しない切断タイムアウト)の項目には、ユーザーが接続を失った際に、eco DC がセッション終了前に、どれくらいの時間待機するのかが表示されます。
- ◆ 「Server Settings」(サーバー設定)のセクションで、HTTP ポートと HTTPS ポートに関する設定を行ってください。

## デバイス

eco DC と接続デバイスの関係性についてのデフォルト設定を定義します。

The screenshot shows the configuration interface for Device Access. It includes sections for enabling remote control, alerts, and synchronization, as well as SNMP agent settings (port, timeout, retry) and energy box voltage configuration (custom, link to device, or link to random device).

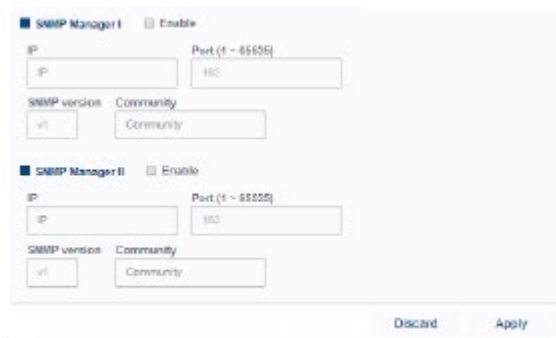
- ◆ チェックボックスを使って、下記の項目を設定してください。
  - Allow remote outlet control (アウトレットの遠隔制御を許可する)
  - Enable alert for Neutral Leakage Current (中性漏れ電流のアラートを有効にする)
  - Synchronize device and outlet name (デバイス名とアウトレット名を同じにする)
  - Treat ATEN smart PDU as IT Power (ATEN スマート PDU を IT 電力として扱う)  
この項目にチェックを入れた場合、データセンターの PUE を算出する際に、ATEN PDU の総電力を IT 機器のエネルギーと見なします。
- ◆ 「Default SNMP Agent Settings」(デフォルト SNMP エージェント設定)セクションで、「Port」(ポ

ート)、「Timeout」(タイムアウト)、「Retry」(再試行、1~5)、「SNMP version」(SNMP バージョン)、「Write Community」(Write コミュニティ)の各欄に適切な値を設定してください。

- ◆ 「Energy Box Voltage」(エネルギーボックスの電圧)セクションで、電圧を次のラジオボタンで選択してください。
  - Custom(90~260) (カスタム(90~260)) - カスタム電圧数を入力してください。
  - Link to the device(デバイスにリンク) - 「Browse」(参照)をクリックして、エネルギーボックスを選択してください。
  - Link to a random device(ランダムなデバイスにリンク) - エネルギーボックスがランダムに選択されます。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## SNMPトラップ

このセクションでは、SNMPトラップサーバーの設定を行います。



- ◆ SNMP Manager I (SNMP マネジャー I) - 「**Enable**」(有効にする)をクリックして、1 台目の SNMP サーバーを設定してください。
  - IP アドレス、ポート、SNMP バージョン、コミュニティを、それぞれ該当欄に入力してください。
  - 「**Test**」(テスト)をクリックすると、接続テストを行います。
- ◆ SNMP Manager II (SNMP マネジャー II) - 「**Enable**」(有効にする)をクリックして、2 台目の SNMP サーバーを設定してください。
  - IP アドレス、ポート、SNMP バージョン、コミュニティを、それぞれ該当欄に入力してください。
  - 「**Test**」(テスト)をクリックすると、接続テストを行います。
- ◆ 「**Apply**」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## SMTP

SMTP サーバーから eco DC の E メールレポートを受け取る場合は、下記の設定を行ってください。

■ Receive Report from SMTP Server  Enable

This server requires a secure connection (SSL)

Server  
Server

Port (1 ~ 65535)  
25

Send from  
Send from

Send to  
Send to

Language  
English

This server requires authentication

Account name  
Account name

Set password  
Password

- ◆ 必要に応じて、「This server requires a secure connection (SSL)」(このサーバーではセキュア接続が必要 (SSL))の項目にチェックを入れてください。
- ◆ SMTP サーバーからのレポートを受信する場合は、「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
  - 「IP address」(IP アドレス)、「Port」(ポート)、「Send to」(宛先)、「Send from」(差出人)の各欄に適切な値を入力し、「Language」(言語)ドロップダウンメニューから適切な値を選択してください。
  - 必要に応じて、「This server requires authentication」(このサーバーでは認証が必要)の項目にチェックを入れてください。この場合、アカウント名を「Account name」(アカウント名)に入力し、「Set password」(パスワードを設定する)の項目にチェックを入れて、パスワードをこの項目の下にあるテキストボックスに入力してください。
- ◆ 「Test」(テスト)をクリックすると、接続テストを行います。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## Syslog

Syslog サーバーの設定を行う場合は、下記の設定を行ってください。



- ◆ Syslog サーバー - Syslog サーバーを使用する場合は、「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
  - 「Server」(サーバー)と「Port」(ポート)の各欄に適切な値を入力してください。また、「Protocol」(プロトコル)と「Language」(言語)の各ドロップダウンメニューから適切な値を選択してください。
  - TCP プロトコルを選択した場合は(必要に応じて)「This server requires authentication」(このサーバーでは認証が必要)の項目にチェックを入れてください。
- ◆ 「**Test**」(テスト)をクリックすると、接続テストを行います。
- ◆ 「**Apply**」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## ライセンス

「License」(ライセンス)画面には、eco DC ソフトウェアに関するライセンス情報が表示されます。

## セキュリティ

eco DC のセキュリティ設定を行う場合は、下記の設定を行ってください。



- ◆ Lock Out Policy (ロックアウトポリシー) - ユーザーログインに関するポリシーを設定します。この機能を使用する場合は、「Lockout users after invalid login attempts」(不正なログイン時にユーザーをロックする)の項目にチェックを入れてください。
  - ユーザーがロックされずにログインを試行できる回数を「Maximum login failures (1~100)」(最大ログイン失敗回数(1~100))欄に入力してください。
  - アドミニストレーターによってユーザーアカウントのロック解除を行う場合は、「Require manual unlock」(手動ロック解除が必要)の項目を選択してください。
  - 一定の時間が経過したらユーザーアカウントのロックを自動的に解除する場合は、「Unlock after (1~1000)」(次の期間の経過後にロックを解除する)の項目を選択し、その時間を分単位でテキストボックスに入力してください。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## 証明書

このセクションには、証明書に関する情報が表示され、内容を変更することができます。



■ Certificate Information

Subject  
CN=Abel

Issuer  
CN=Abel

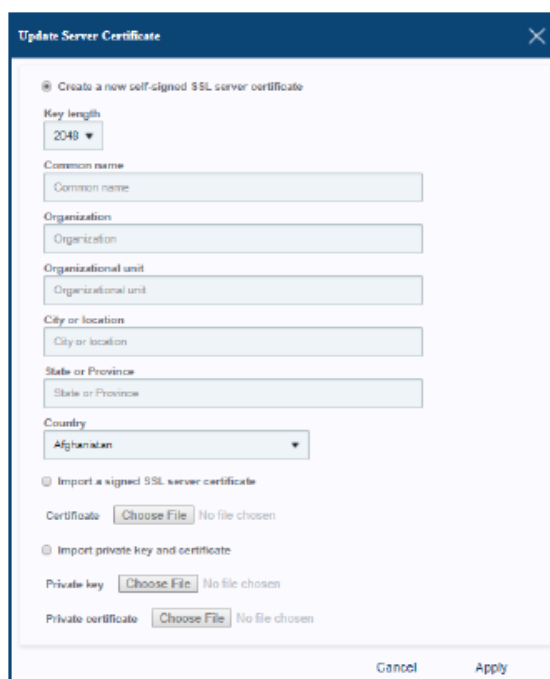
Validity period  
2010.03.20 - 2020.03.20

Serial number  
54204012

SHA-1 thumbprint  
6664 D87D 1061 6527 7685 CF5C 6641 6062 CF83 2DAB

Get CSR Update

- ◆ Certificate Information (証明書情報) - 証明書に関して、次の情報が表示されます。  
Subject (主体者)、Issuer (発行者)、Validity Period (有効期間)、Serial Number (シリアルナンバー)、SHA-1 thumb print (SHA-1 サンプリント)
- ◆ 証明書ファイル (csr.cer) を、お使いのコンピューターにおける適当な場所に保存するには、「Get CSR」(CSR の取得) をクリックしてください。これは、署名済み SSL 証明書を申請するにあたり、サードパーティーCA に対して送付するファイルです。
- ◆ 証明書をインポートするには、「Update」(更新) をクリックしてください。



Update Server Certificate

Create a new self-signed SSL server certificate

Key length  
2048 ▼

Common name  
Common name

Organization  
Organization

Organizational unit  
Organizational unit

City or location  
City or location

State or Province  
State or Province

Country  
Afghanistan ▼

Import a signed SSL server certificate

Certificate  No file chosen

Import private key and certificate

Private key  No file chosen

Private certificate  No file chosen

Cancel Apply

1. 証明書の作成方法は次の 3 種類から選択することができます。
  - ◆ Create a new self-signed SSL server certificate(新しい自己署名済 SSL サーバー証明書を作成する)  
「Key Length」(キーの長さ)のドロップダウンメニューから適切な値を選択してください。  
「Organization」(組織)、「City」(市区町村)、「Location」(場所)、「State」(州)、「Country」(国)の各欄に、適切な値を入力してください。
  - ◆ Import a signed SSL server certificate(署名済 SSL サーバー証明書をインポートする)  
Certificate(証明書) - 「**Choose File**」(ファイルの選択)をクリックして、ファイルをアップロードしてください。
  - ◆ Import Private Key and Certificate(プライベートキーと証明書をインポートする)  
Private Key(プライベートキー) - 「**Choose File**」(ファイルの選択)をクリックして、ファイルをアップロードしてください。  
Private Certificate(プライベート証明書) - 「**Choose File**」(ファイルの選択)をクリックして、ファイルをアップロードしてください。
  
2. 「**Apply**」(適用)をクリックしてください。

## その他の設定

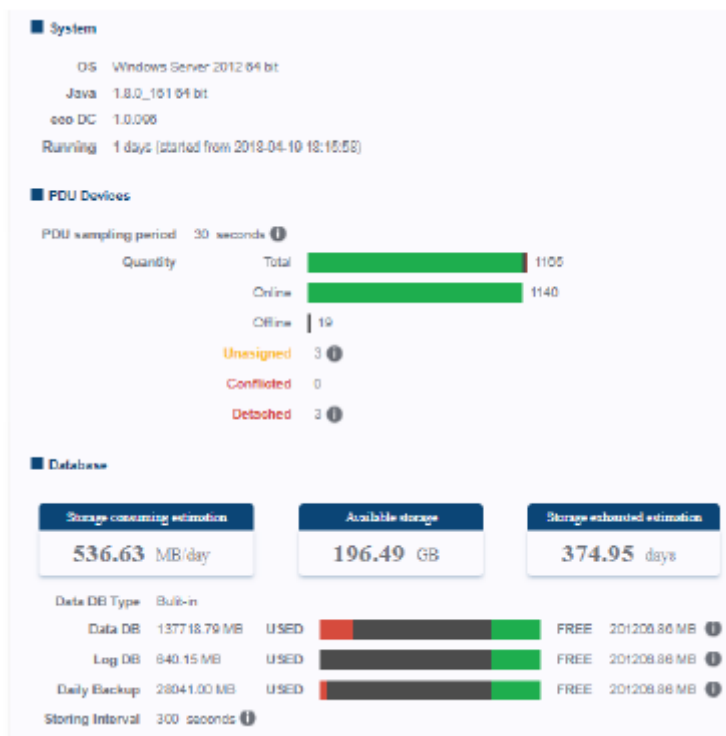
このセクションでは、eco DC インターフェースに関するデフォルトのオプションを設定することができます。

The screenshot shows the 'System preference' settings page. It includes sections for 'System preference' (Temperature unit: Celsius, Currency: \$), 'Default unit for report' (kWh generate CO2: 0.00 kg CO2, Electricity cost: 0.00 \$/kWh, CO2 cost: 0.00 \$/ton), and 'Default rate for billing' (Single Rate: 0.00 \$/kWh, Dual Rate: Peak from, Duration (1-23) hours, Rate \$/kWh, Non-Peak rate \$/kWh). Buttons for 'Discard' and 'Apply' are at the bottom right.

- ◆ System Preference(システム設定) - 「Temperature Unit」(温度単位)および「Currency」(通貨)のデフォルト値を設定します。
- ◆ Default unit for report (レポートのデフォルト単位) - レポート作成時に使用される「1kWh generate CO2」(1kWh あたりで生成される CO2)、「Electricity cost」(電気代)、「CO2 cost units」(CO2 コスト単位)の各項目におけるデフォルト値を設定します。
- ◆ Default rate for billing(デフォルト請求料率) - カスタムレポートの作成に、「Single Rate」(単一レート)と「Dual Rate」(二重レート)のどちらを使うかをラジオボタンで選択してください。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## システムヘルス

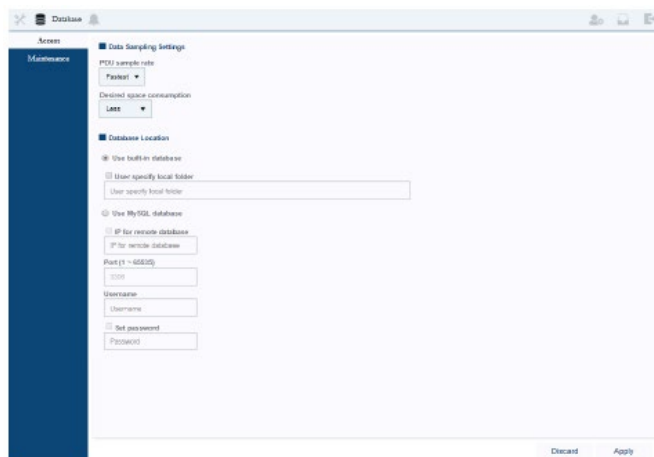
このセクションでは、システム、デバイス、およびデータベースに関する情報が表示されます。



- ◆ System(システム) - ローカルの OS、Java および eco DC の各バージョンが表示されます。
- ◆ PDU Devices(PDU デバイス) - PDU サンプルング期間および eco DC が管理しているデバイスの情報が表示されます。
- ◆ Database(データベース) - eco DC が管理しているデータベースに関する統計データが表示されます。この情報には、保管試算、利用可能なストレージ、ストレージ場所、日単位のバックアップ、および使用中のディスク容量といった内容が含まれています。データベースに関する詳細は、次のセクションで説明します。

## データベース

「Database」(データベース)メニューバーを選択すると、eco DC によって保存されたデータに関する設定を行うことができます。



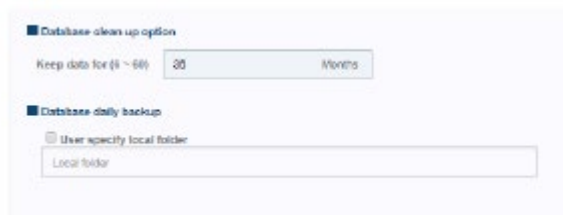
## アクセス

上図に示す「Access」(アクセス)セクションでは、データの管理方法を設定します。

- ◆ 「PDU sample rate」(PDU サンプルング速度)ドロップダウンメニューから、eco DC がデバイスのデータを収集する速さを選択してください。
- ◆ Desired space consumption(使用スペースのサイズ) - 平均でデータに対してどれくらいのディスクスペースを使用したいのかを、ドロップダウンメニューから選択してください。
- ◆ Use built-in database(組み込みデータベースを使用する) - この項目を選択すると、eco DC のデータをローカルコンピューターのディスクドライブに保存します。eco DC は、デフォルトで、データベースファイルの保存ディレクトリを選択しますが、「User specified local folder」(ユーザー指定のローカルフォルダー)の項目にチェックを入れて、データの保存先を選択することも可能です。
- ◆ Use MySQL database(MySQL データベースを使用する) - この項目を使うと、SQL データベースを使って eco DC のデータを保存します。「IP for remote database」(リモートデータベースの IP)の項目にチェックを入れ、IP アドレス、ポート、ユーザーネーム、パスワードを、それぞれ該当欄に入力してください。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## メンテナンス

「Maintenance」(メンテナンス)では、データベースのメンテナンス方法を設定します。

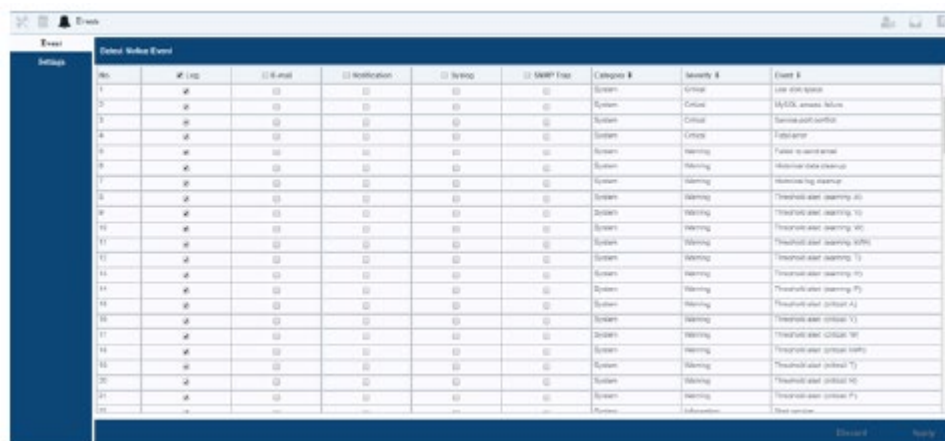


- ◆ Database clean up option(データベースのクリーンアップオプション) - eco DC が古いデータを削除するまでデータを保存しておく期間(月)を入力してください。入力できる値は 6~60 です。
- ◆ Database daily backup(データベースの日次バックアップ) - その日の eco DC のバックアップを作成する場合は、「User specify local folder」(ユーザーによってローカルフォルダーを指定する)の項目にチェックを入れて、対象となるディレクトリーを入力してください。場所を指定しなかった場合は、次のデフォルトディレクトリーにバックアップが保存されます。

C:¥¥ecoDC¥Data¥EcoDC\_dailyBackup

## イベント

「Event」(イベント)メニューバーを選択すると、どのシステムメッセージを使って、どこに保存するかを設定することができます。



- ◆ 保存するイベントタイプと、その保存先を、メインパネルのチェックボックスを使って選択してください。選択できる項目は下記のとおりです。
  - Log(ログ) - イベントをeco DCのシステムログに保存します。この情報は、「Logs」(ログ)のタブバーを選択して参照することができます。
  - E-mail - チェックしたイベントを、SMTP設定で指定したメールアドレスに対して送信します(p.86「SMTP」参照)。
  - Notification(通知) - チェックしたイベントを、通知パネルに送信します。このパネルは、通知アイコンをクリックすることで、メニューバーに表示されます(p.96「設定」参照)。
  - Syslog - 「System」(システム) > 「General」(全般)の設定で定義されたSyslogサーバーに対して、イベントを送信します(p.87「Syslog」参照)。
  - SNMP Trap - 「System」(システム) > 「General」(全般)の設定で定義されたSNMPサーバーに対して、イベントを送信します(p.87「Syslog」参照)。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

## 設定

イベント設定を使うと、イベントの管理方法を定義します。

The screenshot shows a configuration panel with two main sections:

- Maintenance**: A text input field for "Keep days (7 ~ 1096)" containing the value "285".
- SNMP Trap Receiver**:
  - A text input field for "Port (1 ~ 65535)" containing "162".
  - A checked checkbox "Receive SNMPv1 & SNMPv2c trap" with a "Community" text input field containing "Community".
  - A checked checkbox "Receive SNMPv3 trap" with a "Username" text input field containing "Ucamao".
  - A "Security level" dropdown menu set to "Authentication & Privacy".
  - An "Auth protocol" dropdown menu set to "MD5" with a checked "Set auth password" checkbox and an "Auth password" text input field.
  - A "Privacy protocol" dropdown menu set to "AES" with a checked "Set privacy password" checkbox and a "Privacy password" text input field.

- ◆ Maintenance (メンテナンス) - イベントログが削除されるまでシステムがデータを保存する期間(日)を入力してください。設定できる値は7~1096日です。
- ◆ SNMP Trap Receiver (SNMPトラップレシーバー) - SNMPトラップレシーバーを使って、デバイスログをPDUから取得するには、必要なサーバー情報を入力してください。
- ◆ 「Apply」(適用)をクリックして、設定内容を保存してください。

# 第8章 ログ

## 概要

eco DC は、接続機器の内部で発生したイベントの記録を保持することができます。「System Log」(システムログ)および「Device Log」(デバイスログ)の画面では、検索フィルター機能を利用して、ログファイルデータの閲覧やエクスポートを行うことができます。イベントログの保存期間の設定方法については、p.96「設定」を参照してください。

ID	User/Time #	Category #	Severity #	Event #	Description #
1	2018-04-15 09:07:08	System boot	Information	Complete boot	Test (Name: Test #, Type: Power Control) has been started successfully.
2	2018-04-15 09:07:09	System boot	Information	Start boot	Test (Name: Test #, Type: Power Control) has been started successfully.
3	2018-04-15 09:08:01	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_00_01) was online.
4	2018-04-15 09:08:05	Authentication	Information	User sign	User (Name: administrator, IP: 127.0.0.1) logged in successfully.
5	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_01) was online.
6	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_02) was online.
7	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_03) was online.
8	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_04) was online.
9	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_05) was online.
10	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_06) was online.
11	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_07) was online.
12	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_08) was online.
13	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_09) was online.
14	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_10) was online.
15	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_11) was online.
16	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_12) was online.
17	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_13) was online.
18	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_14) was online.
19	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_15) was online.
20	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_16) was online.
21	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_17) was online.
22	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_18) was online.
23	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_19) was online.
24	2018-04-15 09:08:02	System	Information	Device online	Device (Type: P001 H00, R0AC: 00:1074:12:00:30, IP: 127.0.0.1, Device Name: LS204_00_01_20) was online.

## システムログ

- ◆ メニューバーにある「System Log」(システムログ)ボタンをクリックすると、最新のイベントでログ一覧を更新します。
- ◆ Recent Logs(直近のログ) - 検索文字列を入力して「Search」(検索)をクリックすると、その条件に一致したイベントを検索することができます。
- ◆ Items/Page(件/ページ) - このドロップダウンメニューを使うと、1画面あたりに表示するイベントの数を設定します。設定できる値は25~400です。
- ◆ Page(ページ) - このボックスを使うと、選択された1画面あたりの件数に応じて、指定した画面へと移動することができます。「Go」(移動)をクリックすると、その画面に移動します。
- ◆ First Page / Last Page(最初のページ/最後のページ) - 下部バーにあるこれら2つのボタン

を使うと、最初のページや最後のページに移動することができます。これらのボタンの間には、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

- ◆ Previous / Next (前へ/次へ) - 下部バーにあるこれら2つのボタンを使うと、参照しているページを前後のページに移動することができます。これらのボタンの間には、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
- ◆ Save (保存) - クリックすると、メインパネルに表示されているログ一覧をファイル (system\_log.csv) に保存します。「**Save all pages**」(すべてのページを保存) をクリックすると、eco DC がログとして記録しているイベントすべてを保存します。

## デバイスログ

「Device Log」(デバイスログ)には、eco DC に追加されたデバイスから送信されたイベントが一覧表示されます。この機能は、前のセクションにおけるシステムログと同様です。詳細については、前のセクションをご参照ください。